

2025年度

履修登録の手引き

学則等の変更点

2・3・4年次生

国際言語文化学部

現代人間学部

社会情報学環



京都ノートルダム女子大学



掲示を見よう。

確かな情報は、あなたの強い味方です

manaba



京都ノートルダム
女子大学HP



教務課・学事課
WEBサイト



※ 重 要 ※

▽科目の新設や名称変更が行われた場合、在学生（2024年度以前の入学生）でも一部の新しい科目を履修できます（選択科目のみ。変更前のまま（読替）となる科目もあります）。履修登録の手引き（本冊子）の「科目の新設・廃止、科目名の変更と移行措置」を見て指示に従ってください。

▽「学生便覧」は、入学時だけの配付です。各年度の学事日程や開講科目、ルールの変更点などの情報は、この冊子および「ND手帳」等に掲載し毎年度配付します。

▽教室配当は授業日にUNIPANDAにログインし「スケジュール」で随時確認してください。

▽WEB登録画面には通常の登録をする科目と定員設定科目が混在することになりますので、定員設定科目を把握し、抽選結果を十分確認してください（登録可とならなかった科目は画面に表示されていません）。

▽曜日講時等の変更等の情報は学生ポータルUNIPANDAや、学修支援システムmanabaでお知らせしますので、これらを参照の上、各自の時間割を修正してください。

2025年度

履修登録の手引き

国際言語文化学部・現代人間学部・社会情報学環 2・3・4年次生用

2025年3月 ■ 教務課

● 目 次 ●

学則等の変更点 (2024→2025年度)	3
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	3
変更点② 免許・資格課程、各種プログラムの変更	5
学則等の変更点 (2023→2024年度)	6
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	6
変更点② 免許・資格課程、各種プログラムの変更	8
学則等の変更点 (2022→2023年度)	9
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	9
変更点② 免許・資格課程、各種プログラムの変更	10
学則等の変更点 (2021→2022年度)	11
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	11
変更点② 免許・資格課程、各種プログラムの変更	12
学則等の変更点 (2020→2021年度)	14
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	14
変更点② 免許・資格課程、各種プログラムの変更	16
学則等の変更点 (2019→2020年度)	17
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	17
変更点② 成績評価に関する確認についての変更	18
変更点③ 試験の実施要領・不正行為等についての変更	19
学則等の変更点 (2018→2019年度)【2017・2018年度入学生のみ】	21
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	21
変更点② 授業・試験の欠席の取扱いの変更	22
学則等の変更点 (2017→2018年度)【2017年度入学生のみ】	23
変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置	23
変更点② 免許・資格課程、各種プログラムの変更	27
変更点③ 授業・試験の欠席の取扱いの変更	31
キャリア教育について	32
1. キャリア形成支援	32
2. キャリア教育の達成目標	32
3. PBL 型「キャリア形成ゼミ」	32
履修登録の手引き	33
STEP 1 時間割表（履修計画書）作成	36
STEP 2 定員設定科目エントリー・履修登録	38
STEP 3 登録修正・確認	42
登録用語の基礎知識	44
時間割表（履修計画書）	45

大学で履修する科目は、専攻する分野や希望の資格によって一人ひとり異なります。

あなた自身の目標、興味・関心や将来のことなども考えに入れ、じっくりと選びましょう。

「履修登録」とは、1年間に学ぶ科目を大学に届ける、重要な手続きです。

この「履修登録の手引き」と「学生便覧」「シラバス」をよく読んで、注意深く作業してください。

※学生便覧、ND手帳以外は紙の冊子は配付しません

【履修登録ウェブサイト (<http://www.notredame.ac.jp/nd/instsec/>) で閲覧・確認すべきもの】

○履修登録の手引き（この冊子）、開講科目表兼受講科目一覧表、ND手帳

○2025年度授業時間表、各学科の資料等

○2025年度シラバス

○時間割表（履修計画書）

○各資格単位修得確認表

※時間割表（履修計画書）は履修登録の手引きの巻末にもありますので利用してください。

○定員設定科目一覧表

※入学年度によってカリキュラムが異なります。学生便覧の「授業科目の履修・登録」は、下表のとおり参照してください

【学生便覧「授業科目の履修・登録」の学部・学科別、入学年度別参照ページ】(2017年度以後入学生)

学部・学科 \ 入学年度	2017年度～2020年度	2021年度～2023年度	2024年度
国際言語文化学部 英語英文学科	5 (p.29)	5 (p.31)	
国際言語文化学部 国際日本文化学科	5 (p.34)	5 (p.37)	
現代人間学部 福祉生活デザイン学科（2020年度以前入学生） 生活環境学科（2021年度以降入学生）	6 (p.39)	6 (p.43)	6 (p.41)
現代人間学部 心理学科	6 (p.44)	6 (p.48)	6 (p.45)
現代人間学部 こども教育学科	6 (p.49)	6 (p.53)	6 (p.50)
社会情報学環		7 (p.59)	7 (p.55)

学則等の変更点（2024→2025年度）

変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

2017～2024年度入学生のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2025年度からの科目の新設・廃止があります。

- ・新設された選択科目のうち下表に掲げた科目（**新**）は、2017～2024年度入学生も履修することができます。
- ・必修科目などは、従来どおり変更前の科目名のまま（**読替**）となります。
- ・廃止される科目がいつまで開講されるかなどの「経過措置」、新旧の科目の対応の仕方などの情報は、下表に略称で表示しています（略称の意味については凡例を参照のこと）。

【「後継科目」について】

新旧の読替措置がない場合、新科目（後継科目）に対応する旧科目を既に修得済みであれば、その新科目は履修できません（履修する必要がありません）。

（凡例）

新＝科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

旧＝**新**（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替＝科目名が変更された科目について、**新**を履修すれば元の**旧**科目名称に読替えとなることを示す。

経過＝廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【新旧科目対応・経過措置早見表（2017年度～2024年度入学者のみ）】

新 2025年度からの科目（新科目）		旧 2024年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期）
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【共通教育科目】				
GSW1200	女性と健康	GEN1201	●身近な医学	読替
	(対応科目なし)	GEN1401	心理学入門	廃止（2027年度まで）
GBE2312	身近な英文法Ⅰ	GBE2305	●身近な英文法	読替
	(対応科目なし)	GBL1200	文章作成法Ⅰ	廃止（こども教育学科・社会情報学環については学部等が別に定める） ※2025年度以降はメディア利用科目
	(対応科目なし)	GBL1201	文章作成法Ⅱ	廃止（社会情報学環については学環が別に定める）
	(対応科目なし)	GBL3500	話し方と自己表現	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	GCE1102	キリスト教学	廃止（教育センターが別に定める） ※2025年度以降はメディア利用科目
	(対応科目なし)	GCE1103	キリスト教音楽概論	廃止（教育センターが別に定める） ※2025年度以降はメディア利用科目
	(対応科目なし)	GCP1102	ノートルダム学	廃止（2026年度まで）
GCP3504	社会とキャリア	GCP3501	●キャリア形成	読替（2027年度から）

Ⅲ 2025年度からの科目（新科目）		Ⅳ 2024年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期）
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【英語英文学科専門教育科目】				
	(対応科目なし)	EGB1310	Practical English I	廃止（学部等が別に定める）
	(対応科目なし)	EGB1359	Practical English II	廃止（学部等が別に定める）
	(対応科目なし)	EGB1100	英語キャリア戦略	廃止
	(対応科目なし)	EGB1309	同時通訳入門	廃止
	(対応科目なし)	EGB2308	同時通訳法Ⅰ	廃止
	(対応科目なし)	EGB2358	同時通訳法Ⅱ	廃止
	(対応科目なし)	EGE2250	Global Issues	廃止（2026年度以降、女性キャリアデザイン学環で他学科提供科目として開講予定）
	(対応科目なし)	EGE3255	Simultaneous Translation	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	EGE4652	Global Liberal Arts Seminar	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	EGR1152	ホスピタリティ研究	廃止
EGR3505	エアポート研修	EGR3502	●エアライン研修	読替（2026年度から）
【国際日本文化学科専門教育科目】				
CSA1300	日本語教育論Ⅰ	CSA2304	●日本語教育入門	読替（2025年度から）
	(対応科目なし)	CSA2307	スピーチの基礎	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	CSA2512	昔話とストーリーテリング	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	CSA1208	博物館概論	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	CSA1454	博物館情報・メディア論	廃止（2027年度まで）
【現代人間学部学科横断プロジェクト型科目】				
	(対応科目なし)	CHS1502	現代社会と人間	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	CHS1552	病児の発達と支援	廃止
	(対応科目なし)	CHS1503	こどもと自然	廃止
【心理学科専門教育科目】				
	(対応科目なし)	SLB1206	生活と福祉	廃止（2024年度生入学者のみ2027年度まで）
【こども教育学科専門教育科目】				
	(対応科目なし)	EDB1200	こども教育基礎演習（24以前）	廃止（学部等が別に定める）
【社会情報学環専門教育科目】				
	(対応科目なし)	INF1400	社会情報基礎演習Ⅰ（24以前）	廃止
	(対応科目なし)	INF1450	社会情報基礎演習Ⅱ（24以前）	廃止（学環が別に定める）
	(対応科目なし)	GBL3500	話し方と自己表現	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	CSA2307	スピーチの基礎	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	CSA1454	博物館情報・メディア論	廃止（2027年度まで）
【学際教育科目】				
IDE1500	共生プロジェクト実践		(対応科目なし)	新設
【学芸員課程に関する科目】（国際言語文化学部 2024年度以前入学者）				
	(対応科目なし)	MUS1800	博物館概論	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	MUS1850	博物館経営論	廃止（2027年度まで） ※2025年度中に修得すること
	(対応科目なし)	MUS2800	博物館資料論	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	MUS2850	博物館資料保存論	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	MUS1851	博物館展示論	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	MUS1852	博物館教育論	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	MUS1853	博物館情報・メディア論	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	MUS3800	博物館実習Ⅰ（学内）	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	MUS3801	博物館実習Ⅱ（館園）	廃止（2027年度まで）
【日本語教員養成課程】（2024年度以前入学者）				
	(対応科目なし)	JLT3800	日本語教育実習Ⅰ	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	JLT3850	日本語教育実習Ⅱ	廃止（2027年度まで）
	(対応科目なし)	JLT3855	日本語教育実習Ⅲ	廃止（2027年度まで）

変更点 ② 免許・資格課程、各種プログラムの変更

○学芸員課程【国際言語文化学部2024年度以前入学者】

博物館法 施行規則に 定める科目	最低 修得 単位数	2024年度までの科目		単位数	備考（開講する時期）
		左の科目区分に対応する本学開設授業科目			
		コースナンバー	授業科目名		
博物館概論	2	MUS1800	博物館概論	2	廃止（2027年度まで）
博物館経営論	2	MUS1850	博物館経営論	2	廃止（2027年度まで） ※2025年度中に修得すること
博物館資料論	2	MUS2800	博物館資料論	2	廃止（2027年度まで）
博物館資料保存論	2	MUS2850	博物館資料保存論	2	廃止（2027年度まで）
博物館展示論	2	MUS1851	博物館展示論	2	廃止（2027年度まで）
博物館教育論	2	MUS1852	博物館教育論	2	廃止（2027年度まで）
博物館情報・メディア論	2	MUS1853	博物館情報・メディア論	2	廃止（2027年度まで）
博物館実習	3	MUS3800	博物館実習Ⅰ（学内）	2	廃止（2027年度まで）
		MUS3801	博物館実習Ⅱ（館園）	1	廃止（2027年度まで）

（備考）

- 印は、変更が適用された後に履修した場合の科目名（成績証明書、成績通知等に記載される科目名）を示す。
- 新設科目の科目区分などの詳細は、各学部・学科、入学年度別の「受講科目一覧表」を参照のこと。

学則等の変更点（2023→2024年度）

変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

2017～2023年度入学生のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2024年度からの科目の新設・廃止があります。

- ・新設された選択科目のうち下表に掲げた科目（**新**）は、2017～2023年度入学生も履修することができます。
- ・必修科目などは、従来どおり変更前の科目名のまま（**読替**）となります。
- ・廃止される科目がいつまで開講されるかなどの「経過措置」、新旧の科目の対応の仕方などの情報は、下表に略称で表示しています（略称の意味については凡例を参照のこと）。

【「後継科目」について】

新旧の読替措置がない場合、新科目（後継科目）に対応する旧科目を既に修得済みであれば、その新科目は履修できません（履修する必要がありません）。

（凡例）

新＝科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

旧＝**新**（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替＝科目名が変更された科目について、**新**を履修すれば元の**旧**科目名称に読替えとなることを示す。

経過＝廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【新旧科目対応・経過措置早見表（2017年度～2023年度入学者のみ）】

新 2024年度からの科目（新科目）		旧 2023年度までの科目（旧科目）		
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	備考（開講する時期）
【共通教育科目】				
GCP1501	キャリア実習Ⅰ	GCP1550	●短期インターンシップ	読替
GCP1502	キャリア実習Ⅱ		（対応科目なし）	新
	（対応科目なし）	GCP2550	インターンシップ	廃止
GCP3502	インターンシップⅠ		（対応科目なし）	GCP2550インターンシップ 修得の場合は履修不可
GCP3503	インターンシップⅡ		（対応科目なし）	GCP2550インターンシップ 修得の場合は履修不可
GCP2551	海外キャリア実習	GCP3550	●海外インターンシップ	読替
【英語英文学科】				
EGR1152	ホスピタリティ研究	EGR1151	●ホスピタリティ論	読替
	（対応科目なし）	EGR3504	ホスピタリティ演習	廃止
【国際日本文化学科】				
CSA2101	ホスピタリティ・スキル演習	CSA2100	●ホスピタリティ・スキル	読替
	（対応科目なし）	CSA3263	出版文化史	廃止（2024年度まで）
【生活環境学科】				
SLB1205	住居学概論	SLB1251	●住居学概論（製図を含む）	読替
LDA1251	暮らしと電気・エネルギー	LDA1250	●家庭電気・機械及び情報処理	読替
LDA2408	住環境デザイン	LDA2405	福祉住環境デザイン	読替（2025年度から）
LDA2409	家庭科教育法Ⅰ	LDA2407	●家庭科教育法Ⅰ（生活の自立と衣食住）	読替（2025年度から）
LDA2351	家庭科教育法Ⅱ	LDA2350	●家庭科教育法Ⅱ（家族・家庭生活と福祉）	読替（2025年度から）
LDA3602	家庭科教育法Ⅲ	LDA3601	●家庭科教育法Ⅲ（指導法と教材作成）	読替（2026年度から）
LDA3655	家庭科教育法Ⅳ	LDA3651	●家庭科教育法Ⅳ（模擬授業）	読替（2026年度から）

LDA3656	保育学	LDA3652	●保育学（実習及び家庭看護を含む）	読替（2026年度から）
EDI2211	現代社会と福祉	SWA1201	●現代社会と福祉Ⅰ	読替（2025年度から）
SWA2208	高齢者と福祉	SWA2206	●高齢者福祉論	読替（2025年度から）
EDI2210	こども家庭福祉	SWA2203	●児童福祉論	読替（2025年度から）
SWA2453	介護と福祉	SWA2400	●介護技術	読替（2025年度から）
PSA3202	精神疾患とその治療	SWR2203	●精神疾患とその治療Ⅰ	読替（2026年度から）
【心理学科】				
PSB2351	心理学英文講読	PSB2350	●心理学英文講読（基礎）	読替（2025年度から）
PSB3602	心理学応用実験演習	PSB3600	●上級実験演習	読替（2026年度から）
PSA1552	社会・集団・家族心理学	PSA1551	●社会・集団・家族心理学Ⅰ（社会・集団）	読替
PSA2552	家族臨床心理学	PSA2551	●社会・集団・家族心理学Ⅱ（家族）	読替（2025年度から）
PSA3202	精神疾患とその治療	SWR2203	●精神疾患とその治療Ⅰ	読替（2026年度から）
【こども教育学科】				
EDB1401	教育心理学	EDB1400	●こどもの教育心理学	読替
EDB1251	特別支援教育	EDB1250	●特別支援教育論（初等）	読替
EDI2210	こども家庭福祉	EDI2200	●児童福祉論	読替（2025年度から）
EDI2211	現代社会と福祉	EDI2100	●現代社会と福祉Ⅰ	読替（2025年度から）
EDI3206	コミュニティと福祉	EDI3203	●地域福祉論Ⅰ	読替（2026年度から）
EDN2501	教育社会学	EDN2550	●教育と社会	読替（2025年度から）
EDN3403	教育相談の理論及び方法	EDN3400	●教育相談の理論と方法	読替（2026年度から）
EDN4651	教職実践演習	EDN4650	●教職実践演習（幼・小）	読替（2027年度から）
EDP3203	生徒指導・進路指導の理論及び方法	EDP3202	●生徒指導・進路指導	読替（2026年度から）
EDB2400	知的障害者教育論	EDD2450	●知的障害者教育論Ⅰ	読替（2025年度から）
EDB2450	肢体不自由者教育論	EDD2451	●肢体不自由者教育論Ⅰ	読替（2025年度から）
【社会情報課程】				
INF2603	社会情報キャリア実習	INF2601	●社会情報インターンシップ	読替
INF2604	社会情報海外キャリア実習	INF2602	●社会情報海外インターンシップ	読替
LDA1251	暮らしと電気・エネルギー	LDA1250	●家庭電気・機械及び情報処理	読替
LDA2408	住環境デザイン	LDA2405	●福祉住環境デザイン	読替（2025年度から）
PSA2552	家族臨床心理学	PSA2551	●社会・集団・家族心理学Ⅱ（家族）	読替（2025年度から）

（備考）

- 印は、変更が適用された後に履修した場合の科目名（成績証明書、成績通知等に記載される科目名）を示す。
- 新設科目の科目区分などの詳細は、各学部・学科、入学年度別の「受講科目一覧表」を参照のこと。

変更点 ②

免許・資格課程、各種プログラムの変更

○中等教職課程

新 2024年度からの科目（新科目）		旧 2023年度までの科目（旧科目）		
教育の基礎的理解に関する科目等				
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	備考（開講する時期）
TEA2805	教職論	TEA2800	●教師論	読替（2025年度から）
TEA1800	教育原理	TEA1850	●教育原論	
TEA2806	教育心理学	TEA2801	●発達と学習の教育心理学	読替（2025年度から）
TEA1851	教育課程論	TEA2802	●中等教育課程論	
TEA2807	道德の指導法	TEA2803	●道德の指導法（中等）	読替（2025年度から）
TEA4851	教職実践演習	TEA4850	●教職実践演習（中・高）	読替（2027年度から）

（備考）

- 印は、変更が適用された後に履修した場合の科目名（成績証明書、成績通知等に記載される科目名）を示す。
- 科目区分などの詳細は、入学年度別の学生便覧「免許・資格課程、各種プログラム_教育職員免許状_履修科目及び単位表」を参照のこと。

学則等の変更点（2022→2023年度）

変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

2017～2022年度入学生のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2023年度からの科目の新設・廃止があります。

- ・新設された選択科目のうち下表に掲げた科目（**新**）は、2017～2022年度入学生も履修することができます。
- ・必修科目などは、従来どおり変更前の科目名のまま（**読替**）となります。
- ・廃止される科目がいつまで開講されるかなどの「経過措置」、新旧の科目の対応の仕方などの情報は、下表に略称で表示しています（略称の意味については凡例を参照のこと）。

【「後継科目」について】

新旧の読替措置がない場合、新科目（後継科目）に対応する旧科目を既に修得済みであれば、その新科目は履修できません（履修する必要がありません）。

（凡例）

新＝科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

旧＝**新**（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替＝科目名が変更された科目について、**新**を履修すれば元の**旧**科目名称に読替えとなることを示す。

経過＝廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【新旧科目対応・経過措置早見表（2017年度～2022年度入学者のみ）】

新 2023年度からの科目（新科目）		旧 2022年度までの科目（旧科目）		
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	備考（開講する時期）
【共通教育科目】				
GEH1254	哲学入門		（対応科目なし）	新設
【英語英文学科】				
EGL3459	イギリスの社会と文化	EGL3452	●英語圏文化	読替 （2024年度から）
EGR2101	ホスピタリティ・スキル演習	EGR2100	●ホスピタリティ・スキル	読替 （2024年度から）
EGR3504	ホスピタリティ演習	EGR3501	●フィールド研究	読替 （2024年度から）
EGR3552	ホスピタリティ&キャリア	EGR3551	●キャリアデベロップメント	読替 （2024年度から）

【新旧科目対応・経過措置早見表（2018年度～2022年度入学者のみ）】

新 2023年度からの科目（新科目）		旧 2022年度までの科目（旧科目）		
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	備考（開講する時期）
【英語英文学科】				
	（対応科目なし）	EGE3250	Comparative Culture Workshop	廃止（2024年度まで）
EGE2202	Global Japan Studies	EGE2200	●Japan Studies	読替 （2024年度から）
	（対応科目なし）	EGE3251	Japan Studies Workshop	廃止（2025年度まで）
	（対応科目なし）	EGE3354	Creative Writing	廃止（2025年度まで）
EGE3404	Argumentation and Debate	EGE3403	●Debate	読替 （2024年度から）
EGE3652	Global Career Skills Development	EGE3651	●Global Human Resource Development	読替 （2024年度から）
EGE2502	Intercultural Communication and Acculturation	EGE2501	●Intercultural Communication and Adjustment	読替 （2024年度から）
EGE4652	Global Liberal Arts Seminar	EGE4651	●Global English Seminar	読替 （2024年度から）
EGE2503	Study Abroad Preparation	EGE2500	●海外留学事前指導	読替 （2024年度から）

（備考）

- 印は、変更が適用された後に履修した場合の科目名（成績証明書、成績通知等に記載される科目名）を示す。
- 新設科目の科目区分などの詳細は、各学部・学科、入学年度別の「受講科目一覧表」を参照のこと。

変更点 ②

免許・資格課程、各種プログラムの変更

○司書課程（全学共通）（2022年度以前入学者）

図書館法施行規則に定める 科目	最低修得 単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目		備 考
		授業科目	単位数	
生涯学習概論	2	○生涯学習概論	2	
図書館概論	2	○図書館概論	2	
図書館制度・経営論	2	○図書館制度・経営論	2	
図書館情報技術論	2	○図書館情報技術論	2	
図書館サービス概論	2	○図書館サービス概論	2	
情報サービス論	2	○情報サービス論	2	
児童サービス論	2	○児童サービス論	2	
情報サービス演習	2	○情報サービス演習Ⅰ	2	
		○情報サービス演習Ⅱ	2	
図書館情報資源概論	2	○図書館情報資源概論	2	
情報資源組織論	2	○情報資源組織論	2	
情報資源組織演習	2	○情報資源組織演習Ⅰ	2	
		○情報資源組織演習Ⅱ	2	
図書館基礎特論	1	<u>現代出版事情（変更）</u>	<u>2</u>	
		図書館基礎特論	1	
図書館サービス特論	1	<u>子どもの読書とメディア（変更）</u>	<u>2</u>	
		図書館サービス特論	2	
		学校経営と学校図書館	2	
図書館情報資源特論	1	京都資料論	1	
図書・図書館史	1	図書・図書館史	2	
図書館総合演習	1	図書館総合演習	1	
図書館実習	1	図書館実習	1	

※図書館基礎特論、図書館サービス特論は 2023 年度以降閉講

学則等の変更点（2021→2022年度）

変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

2017～2021年度入学生のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2022年度からの科目の新設・廃止があります。

- ・新設された選択科目のうち下表に掲げた科目（**新**）は、2017～2021年度入学生も履修することができます。
- ・必修科目などは、従来どおり変更前の科目名のまま（**読替**）となります。
- ・廃止される科目がいつまで開講されるかなどの「経過措置」、新旧の科目の対応の仕方などの情報は、下表に略称で表示しています（略称の意味については凡例を参照のこと）。

【「後継科目」について】

新旧の読替措置がない場合、新科目（後継科目）に対応する旧科目を既に修得済みであれば、その新科目は履修できません（履修する必要がありません）。

（凡例）

新＝科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

旧＝**新**（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替＝科目名が変更された科目について、**新**を履修すれば元の**旧**科目名称に読替えとなることを示す。

経過＝廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【新旧科目対応・経過措置早見表（2017～2021年度入学者のみ）】

新 2022年度からの科目（新科目）		旧 2021年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期等）
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【共通教育科目】				
GCE2151	キリスト教美術	GCE2151	キリスト教美術	メディア利用科目
EDN3202	教育方法学		(対応科目なし)	新設
EDP3403	ICT活用教育		(対応科目なし)	新設

【新旧科目対応・経過措置早見表（2020～2021年度入学者のみ）】

新 2022年度からの科目（新科目）		旧 2021年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期等）
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【共通教育科目】				
GCE2151	特別活動・総合的な学習の時間の指導法		(対応科目なし)	新設

【新旧科目対応・経過措置早見表（2021年度入学者のみ）】

Ⅱ 2022年度からの科目（新科目）		Ⅰ 2021年度までの科目（旧科目）		
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	備考（開講する時期等）
【共通教育科目】				
GBL1401	情報演習Ⅰ a	GBL1401	情報演習Ⅰ a	[排] 情報演習Ⅰ b
GBL1402	情報演習Ⅰ b	GBL1402	情報演習Ⅰ b	[排] 情報演習Ⅰ a
	(対応科目なし)	LDR3200	建築構造力学	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	LDR3201	デザイン論Ⅰ	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	LDR3251	デザイン論Ⅱ	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	SWR2250	リハビリテーション論	廃止（開講せず）
【共通教育科目《心理学科のみ》】				
	(対応科目なし)	GEN1401	心理学入門	廃止（開講せず）

変更点 ②

免許・資格課程、各種プログラムの変更

○初等教職課程

教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		最低修得単位数	左の科目区分等に対応する本学開設授業科目					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		コースナンバー	授業科目	幼	小	配当学年	備考
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の指導法	幼4(5) 小10(10)	EDP3200	○道徳の指導法	—	2	3	
	総合的な学習の時間の指導法		EDP3450	◇総合的な学習の時間の指導法	—	2	3	
			EDP3402	◆特別活動・総合的な学習の時間の指導法	二	二	三	※1
	特別活動の指導法		EDP3201	◇特別活動の指導法	—	2	3	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		EDN2251	□教育の方法と技術	2	2	3	※2
			EDN3202	▲教育方法学	一	一	三	
			EDP3403	△ICT活用教育	二	一	三	
			EDB3250	教育評価	2	2	3	
	幼児理解の理論及び方法		EDI1451	○幼児理解の理論と方法	2	—	1	
	生徒指導の理論及び方法		EDP3202	○生徒指導・進路指導	—	2	3	
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	EDN3400	○教育相談の理論と方法	2	2	3			
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法								

※1…◇もしくは◆から選択必修（◇：2020年度以前入学者が履修 / ◆：2021年度以降入学者が履修）

※2…幼稚園：□もしくは▲から1科目選択必修

小学校：□（1科目2単位）もしくは▲△（2科目2単位）から2単位選択必修

○中等教職課程

教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		最低修得 単位数	左の科目区分等に対応する本学開設授業科目					
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項		コースナン バー	授業科目	中	高	配当 学年	備考
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び 生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10（10） 高8（8）	TEA2803	○道徳の指導法（中等）	2	－	3	
	総合的な学習の時間の指導法		TEA2853	○特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	2	3	
	特別活動の指導法		TEA3850	△教育の方法及び技術	2	2	3	△もしくは ▲から 2単位選択 必修
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		EDN3202	▲教育方法学	1	1	3	
			EDP3403	▲ICT活用教育	1	1	3	
	生徒指導の理論及び方法		TEA2855	○生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	2	3	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		TEA2851	○教育相談の理論及び方法	2	2	3	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							

2021年度入学者適用

教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目（全学共通）

免許法施行規則に定める 科目区分	最低修得単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目		備 考
		授業科目	単位数	
日本国憲法	2	○憲法と人権	2	
体育	2	体育講義 体育実技 健康スポーツ演習	1 1 2	}
外国語コミュニケーション	2	日常の英会話 旅行の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話 ビジネス英会話 英語実践（4技能）Ⅰ（新設） 英語実践（4技能）Ⅱ（新設） Communication Skills Ⅰ Communication Skills Ⅱ Persuasive Communication Global English Seminar Public Speaking Debate	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2	2単位選択必修 英語英文学科に適用
数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2	AIとデータサイエンス入門	2	
情報機器の操作	2	情報演習Ⅰa 情報演習Ⅰb 情報演習Ⅱ 情報処理	1 1 1 2	2単位選択必修

学則等の変更点（2020→2021年度）

変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

2017～2020年度入学生のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2021年度からの科目の新設・廃止があります。

- ・新設された選択科目のうち下表に掲げた科目（**新**）は、2017～2020年度入学生も履修することができます。
- ・必修科目などは、従来どおり変更前の科目名のまま（**読替**）となります。
- ・廃止される科目がいつまで開講されるかなどの「経過措置」、新旧の科目の対応の仕方などの情報は、下表に略称で表示しています（略称の意味については凡例を参照のこと）。

【「後継科目」について】

新旧の読替措置がない場合、新科目（後継科目）に対応する旧科目を既に修得済みであれば、その新科目は履修できません（履修する必要がありません）。

（凡例）

新＝科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

旧＝**新**（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替＝科目名が変更された科目について、**新**を履修すれば元の**旧**科目名称に読替えとなることを示す。

経過＝廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【新旧科目対応・経過措置早見表（2017～2020年度入学者のみ）】

新 2021年度からの科目（新科目）		旧 2020年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期等）
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	
【共通教育科目】				
	(対応科目なし)	GEH1251	日本の宗教	廃止（2021年度から）
GEN1401	心理学入門	GEH1400	●身近な心理学	読替（2021年度から）
	(対応科目なし)	GES2101	こどもと子育ての生活環境学	廃止（教育センターが別に定める）
IDE1252	海外文化研修	GES1650	●海外研修（生活と社会）	読替（2021年度から）
	(対応科目なし)	GEN1200	地球と宇宙の科学	廃止（2021年度から）
GEN1202	情報の科学と倫理	GEN1451	●情報科学入門	読替（2021年度から）
	(対応科目なし)	GEN1550	環境学概論	廃止（2021年度から）
GBE1302	英語理解Ⅰ	GBE1300	●英語基礎Ⅰ	読替（2021年度から）
GBE1303	英語表現Ⅰ	GBE1301	●英語総合Ⅰ	読替（2021年度から）
GBE1352	英語理解Ⅱ	GBE1350	●英語基礎Ⅱ	読替（2021年度から）
GBE1353	英語表現Ⅱ	GBE1351	●英語総合Ⅱ	読替（2021年度から）
GBE2307	ビジネス英会話	GBE2302	●やさしいビジネス英会話	読替（2022年度から）
GBE2308	英語リスニング	GBE2303	●英語リスニング初級	読替（2022年度から）
	(対応科目なし)	GBE2353	英語リスニング中級	廃止（2022年度まで）
	(対応科目なし)	GBE2304	読むための英語	廃止（2021年度まで）
	(対応科目なし)	GBE3300	アカデミック英語	廃止（2021年度まで）
GBL2300	アカデミック・ライティング	GBL1450	●文章表現法	読替（2022年度から）
GBL1401	情報演習Ⅰ a	GBL1400	●情報演習Ⅰ	読替（2021年度から）
GBL1402	情報演習Ⅰ b	GBL1400	●情報演習Ⅰ	読替（2021年度から）
GCE1102	キリスト教学	GCE1100	●キリスト教入門	読替（2021年度から）
GCE2102	聖書とキリスト教	GCE2100	●聖書と文化	読替（2022年度から）
GCP1550	短期インターンシップ		(対応科目なし)	新設（2021年度から）
	(対応科目なし)	GCP3500	ホスピタリティ京都	廃止（2021年度まで）

Ⅲ 2021年度からの科目（新科目）		Ⅳ 2020年度までの科目（旧科目）		
コースナンバー	授業科目名	コースナンバー	授業科目名	備考（開講する時期等）
【国際日本文化学科専門科目】				
	(対応科目なし)	CSA3400	情報科学	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	CSA2453	情報科学演習	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	CSA3900	応用プレゼンテーション演習	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	CSA1250	日本文化論	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	CSA2306	日本語表現	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	CSA2210	芸術への誘い	廃止（2023年度まで）
CSA2301	アラビア語の世界		(対応科目なし)	新設（2021年度から）
	(対応科目なし)	CSA1211	音楽鑑賞法	廃止（2023年度まで）
CSA4151	キリスト教音楽特講	CSA4121	●典礼音楽特講	読替（2022年度から）
CSA2157	キリスト教とことば	CSA2156	●キリスト教とラテン語Ⅰ	読替（2022年度から）
CSA3158	キリスト教文化	CSA3157	●キリスト教とラテン語Ⅱ	読替（2021年度から）
【現代人間学部共通】科目				
	(対応科目なし)	CHS1200	現代社会とこども	廃止（学部が別に定める）
	(対応科目なし)	CHS1100	現代社会と女性・家族	廃止（学部が別に定める）
	(対応科目なし)	CHS1500	現代社会と高齢者	廃止（学部が別に定める）
	(対応科目なし)	CHS1501	現代社会と病者・障がい者	廃止（学部が別に定める）
	(対応科目なし)	CHS3400	情報科学	廃止（2023年度まで）
【福祉生活デザイン専門科目】				
SLB1251	住居学概論（製図を含む）	SLB1201	●住居学概論	読替（2021年度から）
	(対応科目なし)	LDA3250	衣生活情報論	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	LDA2251	繊維材料科学	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	LDA2254	京都生活論	廃止（2022年度まで）
	(対応科目なし)	LDA3400	消費者教育	廃止（2023年度まで）
SWA2206	高齢者福祉論	SWA2201	●老人福祉論	読替（2022年度から）
LDA3502	コミュニティ活動実践	SWA3500	●福祉コミュニティの実践	読替（2023年度から）
SWR4603	精神保健福祉特講	SWR4602	●社会福祉特講Ⅱ	読替（2024年度から）
【心理学科専門科目】				
PSB1453	心理学統計法	PSB1402	●心理学統計法Ⅰ	読替（開始年度は学部が別に定める）
	(対応科目なし)	PSA2253	無意識の心理学	廃止（学部が別に定める）
	(対応科目なし)	PSR3400	消費者教育	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	PSR3250	衣生活情報論	廃止（2023年度まで）
SWR4603	精神保健福祉特講	SWR4602	●社会福祉特講Ⅱ	読替（2024年度から）
【こども教育学科専門科目】				
	(対応科目なし)	EDN3603	教職専門ゼミナール	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	EDI2500	相談援助演習	廃止（履修規程附則第3項適用）
	(対応科目なし)	EDP3451	アクティブラーニングの指導法	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	EDP4400	学習デザイン論	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	EDP4600	小学校表現活動論	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	EDP3400	消費者教育	廃止（2023年度まで）
	(対応科目なし)	EDP1200	こども情報リテラシー	廃止（2023年度まで）
PSB1453	心理学統計法	EDR1402	心理学統計法Ⅰ	読替（開始年度は学部が別に定める）
	(対応科目なし)	EDR1452	心理学統計法Ⅱ	廃止（学部が別に定める）
	(対応科目なし)	EDR1451	基礎統計学	廃止（2021年度まで）

（備考）

- 印は、変更が適用された後に履修した場合の科目名（成績証明書・成績通知書等に記載される科目名）を示す。
- 新設科目の科目区分などの詳細は、各学部・学科、入学年度別の「受講科目一覧表」を参照のこと。

変更点 ②

免許・資格課程、各種プログラムの変更

「変更点①」による科目の新設・廃止に伴い、以下の免許・資格課程、各種プログラムの科目が一部変更となります。学生便覧の該当ページも併せて参照し、変更点を十分理解してください。

【2017年度以後入学者適用】

①初等教職課程（現代人間学部こども教育学科）（幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状）【一部抜粋】

科目	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	最低修得単位数 (本学の最低単位数)	左の科目区分等に対応する本学開設授業科目			備 考
	各科目に含めることが必要な事項		授業科目	単位数		
				幼	小	
教科及び教職に関する科目	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	幼4 (6) 小10 (12)	○教育の方法と技術	2	2	最低修得単位数 (幼37単位、小57単位) を超えて修得した単位数
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	幼14 (10) 小2 (0)	教育評価	2	2	
			アクティブラーニングの指導法 (新設)	—	2	
			アクティブラーニングの指導法 (削除)	—	2	
			学習デザイン論	—	2	
			初等教材開発論	—	2	
			小学校表現活動論	—	2	
			環境教育	2	2	
			情報教育	2	2	
			食と健康の教育	2	2	
			国際理解教育	2	2	
			介護等体験	—	1	
			(大学が独自に設定する科目以外の科目の余剰単位)			

④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（全学共通）

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目		備 考
		授業科目	単位数	
日本国憲法	2	○憲法と人権	2	
体育	2	体育講義	1	} 2単位選択必修
		体育実技	1	
		健康スポーツ演習	2	
外国語コミュニケーション	2	日常の英会話	1	} 2単位選択必修
		旅行の英会話	1	
		留学の英会話	1	
		おもてなしの英会話	1	
		やさしいビジネス英会話	1	
		英語実践 (4技能) I (新設)	1	
		英語実践 (4技能) II (新設)	1	} 英語英文学科に適用
		Communication Skills I	1	
		Communication Skills II	1	
		Persuasive Communication	2	
		Global English Seminar	2	
		Public Speaking	2	
		Debate	2	
情報機器の操作	2	情報演習 I	1	} 2単位選択必修
		情報演習 II	1	
		情報処理	2	

学則等の変更点（2019→2020年度）

変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

2018・2019年度入学生のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2020年度からの科目の新設・廃止があります。2017年度以前入学生のカリキュラムは変更ありません。2016年度以前入学生はP19～P23を参照してください。

- ・新設された選択科目のうち下表に掲げた科目（**新**）は、2018・2019年度入学生も履修することができます。
- ・必修科目などは、従来どおり変更前の科目名のまま（**旧**）となります。
- ・廃止される科目がいつまで開講されるかなどの「経過措置」、新旧の科目の対応の仕方などの情報は、下表に略称で表示しています（略称の意味については凡例を参照のこと）。

【「後継科目」について】

新旧の読替措置がない場合、新科目（後継科目）に対応する旧科目を既に修得済みであれば、その新科目は履修できません（履修する必要がありません）。

（凡例）

新＝科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

旧＝**新**（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替＝科目名が変更された科目について、**新**を履修すれば元の**旧**科目名称に読替えとなることを示す。

経過＝廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【新旧科目対応・経過措置早見表（2018・2019年度入学者のみ）】

新 2020年度からの科目（新科目）		旧 2019年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期等）
コースナンバー	授業科目	コースナンバー	授業科目	
〔心理学科専門教育科目〕				
PSA 4601	心理実習		（対応科目なし）	新設
	（対応科目なし）	PSA 3652	心理実習Ⅰ	廃止（開講せず）
	（対応科目なし）	PSA 4600	心理実習Ⅱ	廃止（開講せず）

（備考）

1. ●印は、変更が適用された後に履修した場合の科目名（成績証明書・成績通知書等に記載される科目名）を示す。
2. 新設科目の科目区分などの詳細は、各学部・学科、入学年度別の「受講科目一覧表」を参照のこと。

変更点 ②

成績評価に関する確認についての変更

- (1) 授業科目の成績評価は、筆記・口述試験、論文、レポート、実験、実習、実技及び授業参加度などで行われる。
- (2) 授業科目の成績評価は、原則として半期毎に授業担当者から教務課に提出される。ただし、通年・及び夏期集中の科目は学年末に提出される。
- (3) 成績評点は、100点を満点とし、60点以上を合格とする。
- (4) 成績通知書の評価については、次の基準により換算して記載する。

成績評点等	評 価
90点以上	秀 (A)
80～89点	優 (B)
70～79点	良 (C)
60～69点	可 (D)
59点以下	不可
評価なし	／ (試験欠席、出席日数不足など)

ただし、学則第16条、第17条及び第17条の2の規定により本学以外での学修を認定した科目は「認」（英文は「T」）で示される。100点を満点とする評価が難しい科目は「合格」（英文は「P」）又は「不可」で示される。

なお、成績証明書については「不合格」及び「／」の科目は記載しない。

- (5) 履修した科目の修得単位及び成績は、原則として学期末に教務課から本人及び保証人の連名宛てに通知する。ただし、通年及び夏期集中の科目は原則として学年末に通知する。

- (6) 受取った成績について疑問があるときは、以下の場合に限り、「成績評価に関する確認書」（所定用紙）を教務課に提出することができる。

①成績の誤記入等、授業担当教員の誤りであると思われるもの

②シラバス等により周知している成績評価の方法に沿っていないと思われるもの

成績通知後3週間以内（成績通知書に同封の書類に記載）に提出すること。ただし、卒業又は修了の判定の対象者については、これにかかわらず速やかに提出すること。教務課から教員へ問合せ、後日回答する。

変更点 ③

試験の実施要領・不正行為等についての変更

学期末の定期試験等

1 定期試験

- ① 実施方法：筆記試験 試験時間：標準75分
※定期試験を受験する時には学生証を机の上に置くこと。
- ② 定期試験期間（授業期間終了後の16回目）に実施する。病気や事故等でやむを得ず定期試験を欠席し、追試験を希望する場合は、全て教務委員会で審査され受験の可否が決定される。
- ③ 試験の時間表は実施約1か月前に教務課掲示板に掲示する。
- ④ 定期試験は通常授業とは異なる時間表を編成して実施する。
- ⑤ 定期試験に関する注意事項
 - 1) 試験室では筆記用具及び指定されたもの以外は机の上に置かないこと。下敷・ペンケースは使用しないこと。
 - 2) 授業担当者から特に指示のある場合を除き、持込自由の有無にかかわらず、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末など外部と通信のできる機器、ベル付き時計、計算・翻訳機能をもつ時計、電卓・記憶装置のある機器、その他の電子機器類は、電源を切り鞆に入れるなど、手の届かない場所に置くこと。
 - 3) 監督者の指示どおり着席すること。
 - 4) 監督者の指示があるまで試験用紙は裏向きのままにし、触れないこと。
 - 5) 試験開始の合図で解答を始める。印刷不鮮明など読みにくい文字があった時のみ監督者に質問できる。
 - 6) 時間を厳守し、遅刻しないようにすること。
試験開始後15分以内の遅刻のみ入室を許可されるが、終了時は他の学生と同じ時間で試験を打ち切ることを原則とし、延長は認められない。
 - 7) 試験開始後に試験室外に出た場合、原則として再入室は認められない。また追試験の対象とならない。
 - 8) 試験開始後30分が経過したら退室してよい。ただし、試験によっては退室時間を変更することがある。
退室の時は、原則として答案用紙を教卓など指定された場所に提出し、静かに退室すること。
退室後、廊下その他試験室の近くで話をしないこと。
 - 9) 試験の際は、学生証を机の上に置いて受験すること。学生証を忘れた場合は学生課で仮学生証の発行を受けること。

2 レポート

【レポート作成にあたっての注意事項】

他人の著作物を自分の著作物の中に取り込む場合、すなわち引用を行う場合、一般的には、以下の事項に注意すること。

- (1) 他人の著作物を引用する必然性があること。
- (2) かぎ括弧をつけるなど、自分の著作物と引用部分とが区別されていること。
- (3) 自分の著作物と引用する著作物との主従関係が明確であること（自分の著作物が主体）。
- (4) 出所の明示がなされていること。（第48条）

（文化庁「著作物が自由に使える場合（注5）」http://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/chosakubutsu_jiyu.html）

正しい「引用」ができていない場合、「盗用」「剽窃」として不正行為とみなされる。試験での不正行為と同様、原則としてその者の当該学期における履修科目の成績評価は全て無効、教育実習と教職実践演習は履修不可となるので、十分に注意すること。また、盗用・剽窃等により著作権を侵害した場合、刑事上の処罰（著作権、出版権、著作隣接権の侵害の場合→10年以下の懲役又は1000万円以下の罰金。著作者人格権、実演家人格権の侵害など→5年以下の懲役又は500万円以下の罰金）だけでなく、民事上の損害賠償請求をされることがある。

レポートのうち教務課で取扱うものの提出に関しては、以下の点に注意すること。指示どおりにしていないレポートは原則として受理できない。

【教務課に提出するもの】

- 1) 本人が、教務課窓口へ提出すること。（本人以外からの提出物は受理しない。）
- 2) 提出物には、学籍番号・氏名等指示された事柄を記入した表紙を必ず添付し、ホッチキスでしっかりとめること。（教務課でのホッチキス貸出はしない。）
- 3) 提出した表紙に誤記入、未記入があった場合は、受理しない。
- 4) 提出期間・締切時間を厳守すること。提出期間外・締切時間後はいかなる場合も受理しない。また、期間内であっても一度提出したレポートの差替、訂正等には応じない。
- 5) 郵送等による提出は認めない。
- 6) 提出後、受領印がある本人控えは、各自で保管すること。

3 その他

授業時間中に行われる「確認テスト」や「まとめ」などは定期試験とは異なるため、次の点に注意すること。

- 1) 実施方法その他については、全て授業担当者の指示に従うこと。
- 2) 欠席した場合、追試験に相当する措置の有無、診断書・事故証明書等の必要書類その他の取扱いについては、全て授業担当者の判断に委ねられる。

追試験

- (1) 病気や事故のため定期試験（定期試験期間に実施される試験）を欠席し、追試験の受験を希望する者は、以下の手順に従って手続きをすること。受験の可否は教務委員会で審査の上、決定する。試験時間の見誤りや思い違い、単なる遅刻、手続き不備などの場合は認められない。

Step. 1

- 原則として、試験当日中に欠席とその理由を教務課に連絡する。定期試験を受験できないことがあらかじめわかっている場合、試験日の2週間前までに教務課に「追試験伺」を提出すれば、1週間後に受験の可否を回答する。
- 病気欠席の場合には、欠席した当日の日付の親族以外の医師による診断書を必要とし、事故による欠席の場合は公的な証明書類が必要である。診断書等のない場合は、追試験を受験できないことがある。
- 後日すみやかに（4年次生の後期試験においては極力翌日に）教務課の窓口において追試験の手続きをとる。手続きは本人が行うことを原則とするが、事情により代理人に依頼してもよい。

Step. 2 手続きに必要なもの

- 追試験願：追試験願・欠席の事由説明書（大学所定の用紙に欠席日時、科目名、担当教員名等を記入した上で、定期試験を欠席した理由と、追試験を希望する理由を、わかりやすい文章で具体的に記入し、末尾に本人が自筆署名し、押印する。）
- 証明可能な書類：医師の診断書（原則として、試験欠席当日の日付のもので、親族以外の医師によるもの。）もしくは、事由を証明する公的な資料。上記の書類は原則として必要であるが、特別な理由によりどうしても取得できない場合は、その理由を事由説明書で詳しく述べた上で末尾に保証人又は保護者が自筆署名、押印し、提出する。（本人とは別の印鑑を使用すること。）
診断書等の提出がない場合、追試験は認められない場合がある。
- 申請書：追試験料は一科目につき1,000円、5科目以上は一律5,000円とする。学生ロビー設置の証明書自動発行機から必要枚数（受験科目数）分入金のうえ出力すること。ただし、忌引・法定伝染病・教育実習等による欠席の場合は徴収しない。
なお、試験当日に郷里から大学に向かう途中など、通常の通学経路以外の交通機関の事故等による遅延は原則として考慮されない。

Step. 3

- 受験を許可された者は、指定された日時に受験すること。
- (2) 追試験においては本試験と異なった方法（実技試験、レポートなど）で行われることがある。
 - (3) 追試験の実施にあたっては、「学期末の定期試験等」に準じる。
 - (4) いかなる理由があっても追試験の追試験はない。

再試験

- (1) 卒業判定を受ける年度の成績において、卒業条件の不足と資格（社会福祉士・精神保健福祉士・二級建築士及び保育士（2016年度以前入学者のみ）に限る）の取得条件の不足の合計が4単位以内である者には、卒業判定教授会の決定により、当該年度に不合格となった科目の中から、4単位を限度として再試験を実施することができる。
ただし、卒業研究・論文の不合格及び「評価なし」とされた科目は再試験の対象とならない。
- (2) 再試験の受験を許可された者は各学科から通知する。
- (3) 再試験においては本試験と異なった方法（実技試験、レポートなど）で行われることがある。
- (4) 再試験の実施にあたっては「学期末の定期試験等」に準じる。
- (5) いかなる理由があっても再試験の追試験はない。
- (6) 再試験科目の成績の評点は最高60点とし、この得点を得た場合を合格とする。
- (7) 再試験料は1科目2,000円とする。

不正行為

- (1) いわゆるカンニングや替え玉受験、論文・レポート等における盗用・剽窃などの不正行為を行った場合は、原則としてその者の当該学期における履修科目の成績評価は全て無効とする。
- (2) レポートに他人の著作物を無断で使用し、正しい引用がなされていない盗用・剽窃があった場合も不正行為とみなし、(1)と同様に取り扱う。
- (3) レポートの内容等を他人に提供し、提供された側がそれを使用した場合、提供した側も不正行為を幫助したことになる、不正行為を行ったとみなし、(1)と同様に取り扱う。
- (4) これらの科目は次学期以降に再履修することができる。ただし、教育実習及び教職実践演習の履修は以後認めない。
- (5) 不正行為があった場合は、学内に公示する。また、学則第48条に定める懲戒の対象となることがある。

.....

【2017・2018年度入学生のみ】

学則等の変更点（2018→2019年度）

変更点① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

あなたが入学した年度のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2019年度からの科目の新設・廃止があります。

- ・新設された選択科目のうち下表に掲げた科目（**新**）は、2017・2018年度入学生も履修することができます。
- ・必修科目などは、従来どおり変更前の科目名のまま（**読替**）となります。
- ・廃止される科目がいつまで開講されるかなどの「経過措置」、新旧の科目の対応の仕方などの情報は、下表に略称で表示しています（略称の意味については凡例を参照のこと）。

【「後継科目」について】

新旧の読替措置がない場合、新科目（後継科目）に対応する旧科目を既に修得済みであれば、その新科目は履修できません（履修する必要がありません）。

（凡例）

新＝科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

旧＝**新**（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替＝科目名が変更された科目について、**新**を履修すれば元の**旧**科目名称に読替えとなることを示す。

経過＝廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【新旧科目対応・経過措置早見表（2017・2018年度入学者）】

新 2019年度からの科目（新科目）		旧 2018年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期等）
コースナンバー	授業科目	コースナンバー	授業科目	
【共通教育科目】				
GBE 2306	●英語実践（4技能）Ⅰ		（対応科目なし）	新設
GBE 2356	●英語実践（4技能）Ⅱ		（対応科目なし）	新設
【国際日本文化学科専門教育科目】				
CSA 3900	応用プレゼンテーション演習	CSA 3900	応用プレゼンテーション演習	科目種別変更（専門教育自由科目→専門教育選択科目）
【心理学科専門教育科目】				
PSA 2255	健康・医療心理学	PSA 2255	健康・医療心理学	単位数変更（1単位→2単位） ※2018年度入学者のみ適用
PSA 2502	●障害者・障害児心理学	PSA 2502	障害者・障害児の心理学	名称変更 ※2018年度入学者のみ適用
CNS 2402	●いのちのリレー講座Ⅰ 〔1単位〕	CNS 2451	若者と自殺ーいのちのリレー講座 〔2単位〕	科目分割・配当年次変更 〔2年次→1年次〕
CNS 2452	●いのちのリレー講座Ⅱ 〔1単位〕			
【こども教育学科専門教育科目】				
EDI 3203	地域福祉論Ⅰ	EDI 2201	地域福祉論Ⅰ	配当年次変更 〔2年次→3年次〕
EDI 3200	●保育・教育課程論	EDI 3200	保育課程論	名称変更（2021年度から）
EDI 4650	●保育・教職実践演習（幼）	EDI 4650	保育・教職実践演習	名称変更（2022年度から）
EDP 3450	●総合的な学習の時間の指導法	EDP 3450	総合的な学習の指導法	名称変更（2021年度から）
【教職に関する科目】				
TEA 2853	●特別活動・総合的な学習の時間の指導法（中等）	TEA 2804	特別活動の指導法（中等）	後継（2020年度から）

（備考）

1. ●印は、変更が適用された後に履修した場合の科目名（成績証明書・成績通知書等に記載される科目名）を示す。
2. 新設科目の科目区分などの詳細は、各学部・学科、入学年度別の「受講科目一覧表」を参照のこと。

変更点 ②

授業・試験の欠席の取扱いの変更

学生便覧の「授業・試験の欠席の取扱い」の下線部が変更となります。

1. 授業を欠席した場合

- (1) 授業を欠席した（する）時は、授業担当者から特に指示がある等の場合を除き、原則として大学への連絡は不要である。
- (2) 本学に公認欠席（公欠）制度はない。
- (3) 以下に該当するやむを得ない事由で欠席した（する）場合、教務課・学事課で「欠席連絡票」を受取り、記入して各授業担当者に提出することができる。欠席事由解消後、すみやかに（実習においては事前に）提出すること。また、必要に応じて事由を証明する診断書・会葬礼状・事故証明書等の原本を呈示又はコピーを添付すること。

①本学が開設する授業による学外実習等（教育実習等）※¹

②教務委員会が特に認めるもの※¹

③学校保健安全法施行規則第18条に定める伝染病（下表）への罹患※²

④忌引

⑤病気（③の伝染病を除く。）

⑥就職活動における採用試験・内定式※³

⑦事故、交通機関の不遇

⑧その他

※1 本学が開設する授業による学外実習等（教育実習等）、教務委員会が特に認めるもの

その実習等による欠席のために出席回数不足とならないよう、欠席した授業の全部又は一部について、授業担当者の判断で補講等の代替措置を講じることにより出席扱いとする等の配慮がなされる。授業担当者には教務課・学事課から該当期間等を連絡するが、補講等の代替措置の内容については授業担当者から直接指示があるため、実習前に「欠席連絡票」を提出すること。なお、実習の事前打合せ等で授業を欠席する場合については、事前に教務課・学事課に申出て指示に従うこと。

※2 学校保健安全法施行規則第18条に定める伝染病（下表）への罹患

保健室に電話連絡し、指示を受ける。親族以外の医師による診断書（学校保健安全法施行規則第18条に定める病名及び同第19条に定める出席停止期間の記載のあるもの）又は罹患したことがわかる書類の呈示が必要。

※3 就職活動における採用試験・内定式

「就職試験受験証明書」又は「内定式出席証明書」の呈示が必要。各証明書はキャリアセンター又はキャリアセンターホームページで「就職試験受験証明書発行願」又は「内定式出席証明書発行願」を入手し、必要事項を記入した上で企業採用試験時に持参して採用担当者に署名・捺印を願い出（捺印のないものは無効）、採用試験終了後、1週間以内にキャリアセンターに提出すると、翌日に発行される。「欠席連絡票」は提出しなくてもよい。

- (4) 入院等で欠席期間が長期に渡る場合は、教務課・学事課及び学生課に連絡し、以後の履修等について相談すること。

【2017年度入学生のみ】

学則等の変更点（2017→2018年度）

変更点 ① 科目の新設・廃止、名称変更と経過措置

あなたが入学した年度のカリキュラムは、入学時に配付された「学生便覧」の「履修科目表」に記載されていますが、それに加えて、2018年度からの科目の新設・廃止があります。

- ・新設された選択科目のうち下表に掲げた科目（**Ⅱ**）は、2017年度入学生も履修することができます。
- ・必修科目などは、従来どおり変更前の科目名のまま（**Ⅰ**）となります。
- ・廃止される科目がいつまで開講されるかなどの「経過措置」、新旧の科目の対応の仕方などの情報は、下表に略称で表示しています（略称の意味については凡例を参照のこと）。

【「後継科目」について】

新旧の読替措置がない場合、新科目（後継科目）に対応する旧科目を既に修得済みであれば、その新科目は履修できません（履修する必要がありません）。

（凡例）

Ⅱ＝科目名が変更された科目（後継科目）、または新設された科目を示す。新科目。

Ⅰ＝**Ⅱ**（後継科目）に対応する変更前の科目を示す。旧科目。

読替＝科目名が変更された科目について、**Ⅱ** を履修すれば元の **Ⅰ** 科目名称に読替えとなることを示す。

経過＝廃止される科目について、いつまで開講するかなどの経過措置を示す。

【新旧科目対応・経過措置早見表（2017年度入学者）】

Ⅱ 2018年度からの科目（新科目）		Ⅰ 2017年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期等）
コースナンバー	授業科目	コースナンバー	授業科目	
	（対応科目なし）	EGB 3300	●Academic Reading I	廃止 経過 2018年度まで
	（対応科目なし）	EGB 3350	●Academic Reading II	廃止 経過 2018年度まで
	（対応科目なし）	EGB 4300	●Communication Skills III	廃止（開講せず）
	（対応科目なし）	EGB 4350	●Communication Skills IV	廃止（開講せず）
	（対応科目なし）	EGB 2304	●英文法Ⅲ	廃止 経過 2018年度まで
	（対応科目なし）	EGB 2354	●英文法Ⅳ	廃止 経過 2018年度まで
	（対応科目なし）	EGB 1307	●Writing Lab I	廃止（開講せず）
	（対応科目なし）	EGB 1357	●Writing Lab II	廃止（開講せず）
	（対応科目なし）	EGB 1308	●Reading Lab I	廃止（開講せず）
	（対応科目なし）	EGB 1358	●Reading Lab II	廃止（開講せず）
	（対応科目なし）	EGB 2306	●Writing Lab III	廃止（開講せず）
	（対応科目なし）	EGB 2356	●Writing Lab IV	廃止（開講せず）
	（対応科目なし）	EGB 2307	●Reading Lab III	廃止（開講せず）
	（対応科目なし）	EGB 2357	●Reading Lab IV	廃止（開講せず）
	（対応科目なし）	EGB 3303	●スピーチ I	廃止（開講せず）
	（対応科目なし）	EGB 3353	●スピーチ II	廃止（開講せず）
	（対応科目なし）	EGB 2359	●ビジネス英語	廃止（開講せず）
EGF 2250	●専門講読（英文学）		（対応科目なし）	新設（2019年度から）
EGF 2251	●専門講読（米文学）		（対応科目なし）	新設（2019年度から）
EGF 2254	●研究方法論（コミュニケーション学）		（対応科目なし）	新設（2019年度から）
EGF 2255	●研究方法論（英語教育学）		（対応科目なし）	新設（2019年度から）
EGF 2256	●研究方法論（言語学）		（対応科目なし）	新設（2019年度から）
	（対応科目なし）	EGF 1200	●専門講読 I a	廃止（開講せず）
	（対応科目なし）	EGF 1201	●専門講読 I b	廃止（開講せず）

Ⅲ 2018年度からの科目（新科目）		Ⅳ 2017年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期等）
コースナンバー	授業科目	コースナンバー	授業科目	
	(対応科目なし)	EGF 1202	●専門講読Ⅰc	廃止 <u>経過</u> 2018年度まで
	(対応科目なし)	EGF 1203	●専門講読Ⅰd	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	EGF 1250	●専門講読Ⅱa	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	EGF 1251	●専門講読Ⅱb	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	EGF 1252	●専門講読Ⅱc	廃止 <u>経過</u> 2018年度まで
	(対応科目なし)	EGF 1253	●専門講読Ⅱd	廃止 <u>経過</u> 2018年度まで
EGE 2250	●Global Issues		(対応科目なし)	新設（2019年度から）
	(対応科目なし)	EGE 3300	●Global English LectureⅠa	廃止 <u>経過</u> 2018年度まで
EGE 3553	●Comparative Culture	EGE 3350	Global English LectureⅡa	後継
EGE 2200	●Japan Studies		(対応科目なし)	新設（2019年度から）
	(対応科目なし)	EGE 2300	●Global English LectureⅢa	廃止（2019年度まで）
EGE 3251	●Japan Studies Workshop	EGE 3400	Global English WorkshopⅠa	後継
	(対応科目なし)	EGE 3401	●Global English WorkshopⅡa	廃止（開講せず）
EGE 3550	●Women in Leadership		(対応科目なし)	新設
EGE 3250	●Comparative Culture Workshop	EGE 3351	Global English LectureⅠb	後継
	(対応科目なし)	EGE 3301	●Global English LectureⅡb	廃止（開講せず）
EGE 2201	●Popular Culture		(対応科目なし)	新設
EGE 3354	●Creative Writing	EGE 3352	Global English LectureⅢb	後継
	(対応科目なし)	EGE 4450	●Global English WorkshopⅠb	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	EGE 4400	●Global English WorkshopⅡb	廃止（開講せず）
EGE 2302	●Public Speaking		(対応科目なし)	新設
EGE 3403	●Debate		(対応科目なし)	新設
EGE 3651	●Global Human Resource Development		(対応科目なし)	新設
EGE 2501	●Intercultural Communication and Adjustment	EGE 2301	Global English LectureⅠc	後継
	(対応科目なし)	EGE 4350	●Global English LectureⅡc	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	EGE 3302	●Global English LectureⅢc	廃止 <u>経過</u> 2018年度まで
	(対応科目なし)	EGE 3450	●Global English WorkshopⅠc	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	EGE 4451	●Global English WorkshopⅡc	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	EGE 3600	●Global English ColloquiumⅠ	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	EGE 3650	●Global English ColloquiumⅡ	廃止（開講せず）
EGE 3402	Persuasive Communication	EGE 4600	●Global English ColloquiumⅢ	<u>読替</u> （3・4年次配当とする）
EGE 4651	Global English Seminar	EGE 4650	●Global English ColloquiumⅣ	<u>読替</u>
	(対応科目なし)	EGE 3500	●海外留学事後指導	廃止（開講せず）
EGL 2450	●英文学作品研究		(対応科目なし)	新設（2019年度から）
EGL 2451	●米文学作品研究		(対応科目なし)	新設（2019年度から）
	(対応科目なし)	EGL 3400	●児童文学	廃止（2019年度まで）
	(対応科目なし)	EGL 3451	●文学と女性	廃止（2019年度まで）
EGL 2453	●ことばのしくみ	EGL 3454	ことばのしくみ	後継
EGL 3458	●ことばと意味		(対応科目なし)	新設（2019年度から）
	(対応科目なし)	EGL 3401	●ことばと認知	廃止 <u>経過</u> 2018年度まで
EGL 3406	●ことばの音と形態	EGL 3402	英語のサウンド研究	後継
EGL 2400	●ことばとコミュニケーション	EGL 3457	言語、文化、コミュニケーション	後継（2019年度から）
	(対応科目なし)	EGR 3201	●小学校英語教育Ⅰ	廃止（2019年度まで）
	(対応科目なし)	EGR 3251	●小学校英語教育Ⅱ	廃止（2019年度まで）
EGR 2202	こども英語指導法（理論編）	EGR 2201	●こども英語教育Ⅰ	<u>読替</u> （2019年度から）
EGR 2252	こども英語指導法（実践編）	EGR 2251	●こども英語教育Ⅱ	<u>読替</u> （2019年度から）
	(対応科目なし)	EGR 3203	●子ども英語のための音声指導	廃止 <u>経過</u> 2018年度まで
	(対応科目なし)	EGR 4550	●スクールインターンシップ	廃止 <u>経過</u> 2018年度まで
	(対応科目なし)	EGR 1100	●ホスピタリティ論Ⅰ	廃止（開講せず）

Ⅲ 2018年度からの科目（新科目）		Ⅳ 2017年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期等）
コースナンバー	授業科目	コースナンバー	授業科目	
EGR 1151	●ホスピタリティ論	EGR 1150	ホスピタリティ論Ⅱ	後継
	(対応科目なし)	EGR 4350	●接遇のための英語	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	EGR 4502	●エアラインインターンシップ	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	EGR 2352	●臨床の医学	廃止（開講せず）
EGR 2253	●臨床の医学・病院研修	EGR 3503	医療サポート語学プログラム病院研修	後継
	(対応科目なし)	EGR 4501	●病院インターンシップ	廃止（開講せず）
	(対応科目なし)	CNS 2900	●オンライン版英国文化研究Ⅰ	廃止 経過 2018年度まで
	(対応科目なし)	CNS 2950	●オンライン版英国文化研究Ⅱ	廃止 経過 2018年度まで
【人間文化学科専門教育科目】				
CSA 3202	●外国語としての日本語		(対応科目なし)	新設
	(対応科目なし)	CSA 2300	●言語学概論	廃止（開講せず）
CSA 2203	●京都資料論		(対応科目なし)	新設
CSA 2451	●異界・妖怪学		(対応科目なし)	新設（2019年度から）
CSA 3401	●物語舞台論		(対応科目なし)	新設（2019年度から）
	(対応科目なし)	CSA 2508	●キャリアとコミュニケーション	廃止 経過 2018年度まで
CSA 1252	現代ジャーナリズム入門	CSA 1251	●現代ジャーナリズム論	読替
CSA 2453	情報科学演習	CSA 2402	●情報科学演習Ⅰ	読替（2019年度から）
	(対応科目なし)	CSA 2452	●情報科学演習Ⅱ	廃止（2019年度まで）
CSA 2274	●アジア文化論		(対応科目なし)	新設（2019年度から）
	(対応科目なし)	CSA 2271	●朝鮮文化論	廃止 経過 2018年度まで
CSA 4217	アラブ・イスラーム文化論	CSA 4216	●アラブ文学特講	読替（2019年度から）
	(対応科目なし)	CSA 3253	●音楽学特講	廃止（2019年度まで）
	(対応科目なし)	CSA 2270	●歌曲論	廃止 経過 2018年度まで
CSA 2223	西洋思想史	CSA 2222	●西洋思想史（古代・中世）	読替（2019年度から）
	(対応科目なし)	CSA 2272	●西洋思想史（近世）	廃止 経過 2018年度まで
CSA 2257	●音楽表現学		(対応科目なし)	新設（2019年度から）
CSA 3203	●現代音楽事情		(対応科目なし)	新設（2019年度から）
CSA 3550	●クールジャパン論		(対応科目なし)	新設（2019年度から）
CSB 1600	基礎演習Ⅰ	CSS 1600	●基礎演習Ⅰ	読替
CSB 1650	基礎演習Ⅱ	CSS 1650	●基礎演習Ⅱ	読替
【福祉生活デザイン学科専門教育科目】				
SWA 2205	人体の構造と機能及び疾病	SWA 2202	●医学一般	読替（2019年度から）
SWR 2203	精神疾患とその治療Ⅰ	SWR 2200	●精神医学Ⅰ	読替（2019年度から）
SWR 2454	精神疾患とその治療Ⅱ	SWR 2451	●精神医学Ⅱ	読替（2019年度から）
【心理学科専門教育科目】				
PSB 1402	心理学統計法Ⅰ	PSB 1400	●心理統計法Ⅰ	読替
PSB 1452	心理学統計法Ⅱ	PSB 1450	●心理統計法Ⅱ	読替
PSB 1455	心理学実験演習Ⅰ	PSB 1451	●初級実験演習Ⅰ	読替
PSB 2405	心理学実験演習Ⅱ	PSB 2400	●初級実験演習Ⅱ	読替（2019年度から）
PSA 2205	知覚・認知心理学	PSA 2200	●知覚心理学	読替（2019年度から）
PSA 2254	学習・言語心理学	PSA 2250	●学習の心理学	読替（2019年度から）
	(対応科目なし)	PSA 3200	●認知心理学	廃止 経過 2018年度まで
PSA 3258	神経・生理心理学	PSA 3250	●神経心理学	読替（2020年度から）
PSA 1551	社会・集団・家族心理学Ⅰ (社会・集団)	PSA 1550	●現代社会の心理学	読替
PSA 2551	社会・集団・家族心理学Ⅱ (家族)	PSA 2550	●家族心理学	読替（2019年度から）
PSA 3254	産業・組織心理学	PSA 3251	●産業心理学	読替（2020年度から）
PSA 2207	感情・人格心理学	PSA 2206	●パーソナリティ心理学	読替（2019年度から）
PSA 2502	障害者・障害児の心理学	PSA 2501	●障害児・者の心理学	読替（2019年度から）
PSA 2451	心理的アセスメント	PSA 2450	●臨床心理アセスメント	読替（2019年度から）

Ⅲ 2018年度からの科目（新科目）		Ⅳ 2017年度までの科目（旧科目）		備考（開講する時期等）
コースナンバー	授業科目	コースナンバー	授業科目	
PSA 3502	スクールカウンセリング論 （教育・学校心理学）	PSA 3500	●スクールカウンセリング論	読替（2020年度から）
PSA 3503	心理学的支援法	PSA 3501	●心理療法論	読替（2020年度から）
PSA 3255	関係行政論	PSA 3253	●心理関係法規論	読替（2020年度から）
SWR 2203	精神疾患とその治療Ⅰ	SWR 2200	●精神医学Ⅰ	読替（2019年度から）
SWR 2454	精神疾患とその治療Ⅱ	SWR 2451	●精神医学Ⅱ	読替（2019年度から）
PSA 3256	司法・犯罪心理学	PSA 3252	●犯罪心理学	読替（2020年度から）
	（対応科目なし）	PSA 3650	●心理カウンセリング実践（アートセラピー）	廃止（2019年度まで）
PSA 4600	●心理実習Ⅱ		（対応科目なし）	新設（2020年度から）
PSR 1251	現代ジャーナリズム入門	PSR 1250	●現代ジャーナリズム論	読替
PSR 4200	●ビジネスの基礎Ⅰ	PSR 4200	ビジネスの基礎	名称変更
SWA 2205	人体の構造と機能及び疾病	SWA 2202	●医学一般	読替（2019年度から）
【こども教育学科専門教育科目】				
EDN 2401	障害者・障害児の心理学	EDN 2400	●障害児・者の心理学	読替（2019年度から）
EDN 2253	学習・言語心理学	EDN 2252	●学習の心理学	読替（2019年度から）
EDN 3201	スクールカウンセリング論 （教育・学校心理学）	EDN 3200	●スクールカウンセリング論	読替（2020年度から）
EDC 2301	こども英語指導法（理論編）	EDC 2300	●こども英語教育Ⅰ	読替（2019年度から）
EDC 2351	こども英語指導法（実践編）	EDC 2350	●こども英語教育Ⅱ	読替（2019年度から）
EDR 1402	心理学統計法Ⅰ	EDR 1400	●心理統計法Ⅰ	読替
EDR 1452	心理学統計法Ⅱ	EDR 1450	●心理統計法Ⅱ	読替
【司書に関する科目】				
L I B 2807	●京都資料論	L I B 2805	図書館情報資源特論	変更
【学芸員に関する科目】				
MUS 3800	●博物館実習Ⅰ（学内）	MUS 3800	博物館実習Ⅰ	変更
MUS 3801	●博物館実習Ⅱ（館園）	MUS 3801	博物館実習Ⅱ	変更

（備考）

- 印は、変更が適用された後に履修した場合の科目名（成績証明書・成績通知書等に記載される科目名）を示す。
- 新設科目の科目区分などの詳細は、各学部・学科、入学年度別の「受講科目一覧表」を参照のこと。

変更点 ②

免許・資格課程、各種プログラムの変更

「変更点①」による科目の新設・廃止に伴い、以下の免許・資格課程、各種プログラムの科目が一部変更となります。学生便覧の該当ページも併せて参照し、変更点を十分理解してください。

○初等教職課程

教科又は教職に関する科目（幼稚園・小学校教諭一種免許状）

免許法施行規則 に定める 科目区分	免許状取得に必 要な最低修得 単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目			備 考
		授業科目	単位数		
			幼	小	
教科又は教職に 関する科目	10	総合的な学習の指導法	－	2	
		アクティブラーニングの指導法	－	2	
		学習デザイン論	－	2	
		初等教材開発論	－	2	
		小学校表現活動論	－	2	
		環境教育	2	2	
		情報教育	2	2	
		食と健康の教育	2	2	
		国際理解教育	2	2	
		小学校英語教育Ⅰ	－	2	
		小学校英語教育Ⅱ	－	2	
		(削除)			
		(削除)			
		介護等体験	－	1	
(教科に関する科目の余剰単位)				最低修得単位数（幼6単位、小8単位）を超えて修得した単位数	
(教職に関する科目の余剰単位)				最低修得単位数（幼41単位、小35単位）を超えて修得した単位数	

○中等教職課程

教科に関する科目・人間文化学部英語英文学科（中学校・高等学校教諭一種免許状（英語））

免許法施行規則 に定める 科目区分	免許状取得に必 要な最低修得 単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目			備 考
		授業科目	単位数		
			中	高	
英語学	左の各科目区分 についてそれぞ れ1単位以上計 20単位	○言語学概論	2	2	
		英語の歴史	2	2	
		ことばのしくみ	2	2	
		ことばの音と形態（後継）			
		○応用言語学	2	2	
		(削除)			
英米文学		○英米文学概論	2	2	
		英文学の歴史	2	2	
		米文学の歴史	2	2	
		(削除)			
		(削除)			
		専門講読（英文学）（新設）	2	2	
		専門講読（米文学）（新設）	2	2	
英語コミュニ ケーション		○Advanced Listening I	1	1	
		○Advanced Speaking I	1	1	
	○Advanced Reading I	2	2		
	○Advanced Writing I	2	2		
	Communication Skills I	1	1		
	Communication Skills II	1	1		
	(削除)				
	(削除)				
	(削除)				

免許法施行規則 に定める 科目区分	免許状取得に必 要な最低修得 単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目			備 考
		授業科目	単位数		
			中	高	
英語コミュニ ケーション	左の各科目区分 についてそれぞ れ1単位以上計 20単位	<u>Public Speaking</u> （新設）	2	2	△から1科目 選択必修
		<u>Debate</u> （新設）	2	2	
異文化理解		△異文化間コミュニケーション	2	2	
		英語圏文化	2	2	
		Global English Lecture I a	2	2	
		<u>Comparative Culture</u> （後継）	2	2	
		<u>Comparative Culture Workshop</u> （後継）	2	2	
		△ <u>Intercultural Communication and Adjustment</u> （後継）	2	2	

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（全学共通）

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目		備 考
		授業科目	単位数	
日本国憲法	2	○憲法と人権	2	
体育	2	体育講義 体育実技 健康スポーツ演習	1 1 2	2単位選択必修
外国語コミュニケーション	2	日常の英会話 旅行の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話 やさしいビジネス英会話 Communication Skills I Communication Skills II (削除) (削除) Public Speaking（新設） Debate（新設）	1 1 1 1 1 1 1 2 2	2単位選択必修 英語英文学科に適用
情報機器の操作	2	情報演習Ⅰ 情報演習Ⅱ 情報処理	1 1 2	2単位選択必修

○司書課程（全学共通）

図書館法施行規則に定める科目	最低修得単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目		備 考
		授業科目	単位数	
生涯学習概論	2	○生涯学習概論	2	
図書館概論	2	○図書館概論	2	
図書館制度・経営論	2	○図書館制度・経営論	2	
図書館情報技術論	2	○図書館情報技術論	2	
図書館サービス概論	2	○図書館サービス概論	2	
情報サービス論	2	○情報サービス論	2	
児童サービス論	2	○児童サービス論	2	
情報サービス演習	2	○情報サービス演習Ⅰ ○情報サービス演習Ⅱ	2 2	
図書館情報資源概論	2	○図書館情報資源概論	2	
情報資源組織論	2	○情報資源組織論	2	
情報資源組織演習	2	○情報資源組織演習Ⅰ ○情報資源組織演習Ⅱ	2 2	

図書館法施行規則に定める科目	最低修得 単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目		備 考
		授業科目	単位数	
図書館基礎特論	1	図書館基礎特論	1	いずれか1科目のみ算入。学校経営と 学校図書館は教職課程履修者に限り 履修できる。 2科目以上選択必修
図書館サービス 特論	1	図書館サービス特論	2	
		学校経営と学校図書館	2	
図書館情報資源 特論	1	京都資料論（変更）	1	
図書・図書館史	1	図書・図書館史	2	
図書館総合演習	1	図書館総合演習	1	
図書館実習	1	図書館実習	1	

○学芸員課程（人間文化学部に応用）

博物館法施行規則に定める科目	最低修得 単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目		備 考
		授業科目	単位数	
生涯学習概論	2	○生涯学習概論	2	
博物館概論	2	○博物館概論	2	
博物館経営論	2	○博物館経営論	2	
博物館資料論	2	○博物館資料論	2	
博物館資料保存 論	2	○博物館資料保存論	2	
博物館展示論	2	○博物館展示論	2	
博物館情報・ メディア論	2	○博物館情報・メディア論	2	
博物館教育論	2	○博物館教育論	2	
博物館実習	3	○博物館実習Ⅰ（学内）（変更）	2	
		○博物館実習Ⅱ（館園）（変更）	1	

○産学連携「ホスピタリティプログラム ―京都に学ぶ、おもてなしの文化と実践―」

区分	学科等	コース ナンバー	科目名	単位	必修	配当学年	備 考
基礎 科目	[共]	GCP 3500	ホスピタリティ京都	2	2単位 以上 選択必修	2・3	
	[共]	GCP 1500	ホスピタリティ入門	2		1	英語英文学科の学生は「ホスピタリティ論Ⅰ」 を履修すること
	[英]	EGR 1100	ホスピタリティ論Ⅰ	2		1	英語英文学科学生対象科目
	[英]	EGR 1151	☆ホスピタリティ論（後継）	2		1	前提科目「ホスピタリティ論Ⅰ」又は「ホス ピタリティ入門」
	[英]	EGR 1150	☆ホスピタリティ論Ⅱ	2		1	
	[共]	GBE 2301	おもてなしの英会話	1		2・3	
展開 科目	[英]	EGL 3403	☆対人コミュニケーション	2		2・3・4	
	[英]	EGL 3456	☆異文化間コミュニケーション	2		2・3・4	
	[英]	EGE 2501	Intercultural Communication and Adjustment（新設）	2		2・3・4	
	[英]	EGL 2400	☆ことばとコミュニケーション（後継）	2		2・3・4	
	[英]	EGL 3457	☆言語、文化、コミュニケーション	2		2・3・4	
	[英]	EGR 3500	☆旅行観光業研究	2		2・3・4	（隔年開講1）
	[英]	EGR 2350	☆接遇のための日本語	1		2・3・4	
	[人]	CSA 2202	☆日本伝統文化論	2		2・3・4	
	[人]	CSA 3250	☆日本年中行事論	2		3・4	
	[人]	CSA 2255	☆京都学	2		2・3・4	
	[人]	CSA 2403	☆京都フィールドワーク研究	2		2・3・4	
	[人]	CSA 1250	☆日本文化論	2		1・2	
	[福]	LDA 2254	☆京都生活論	2		2	
	[心]	PSA 2500	☆対人関係論	2		2・3	
実践 科目	[共]	GCP 2600	キャリア形成ゼミ	2	2単位 以上 選択必修	2	
	[共]	GCP 2650	インターンシップ	2		2・3・4	

1）基礎科目の「ホスピタリティ京都」「ホスピタリティ入門」「ホスピタリティ論Ⅰ」のうちの1科目（2単位）及び実践科目の「キャリア形成ゼミ」「インターンシップ」のうちの1科目（2単位）計4単位を選択必修とし、総計20単位を修得すれば修了とする。

○「医療サポート語学プログラム（英語）」：国際化に伴う医療を支援する医療語学力（医療英語力等）を持つ人材養成

区分	学科等	コース ナンバー	科目名	単位	必修	配当学年	備 考
主要 科目	[英]	EGR 2300	☆医療サポート英語Ⅰ	2	○	2・3・4	
	[英]	EGR 2351	☆医療サポート英語Ⅱ	2	○	2・3・4	前提科目「医療サポート英語Ⅰ」
	[共]	GEN 1201	身近な医学	2	○	1・2	
	[英]	<u>EGR 2253</u>	☆臨床の医学・病院研修（後継）	2	○	2・3・4	集中 前提科目「身近な医学」
選択 必修 科目 A	[共]	GCP 1500	ホスピタリティ入門	2	選択必修 6単位 以上	1	英語英文学科の学生は「ホスピタリティ論Ⅰ」 を履修すること
	[英]	EGR 1100	ホスピタリティ論Ⅰ	2		1	英語英文学科学生対象科目
	[英]	<u>EGR 1151</u>	☆ホスピタリティ論（後継）	<u>2</u>		<u>1</u>	前提科目「ホスピタリティ論Ⅰ」又は「ホス ピタリティ入門」
	[英]	EGR 1150	☆ホスピタリティ論Ⅱ	2		1	
	[英]	EGR 3500	☆旅行観光研究	2		2・3・4	集中（隔年開講1）
	[英]	EGR 4500	☆ホテルビジネス研究	2		2・3・4	集中（隔年開講2）
	[英]	EGR 2350	☆接遇のための日本語	1		2・3・4	定員20人
	[英]	EGL 3456	☆異文化間コミュニケーション	2		2・3・4	
	[英]	<u>EGE 2501</u>	<u>International Communication and Adjustment（新設）</u>	<u>2</u>		<u>2・3・4</u>	
	[英]	EGL 3403	☆対人コミュニケーション	2		2・3・4	
選択 必修 科目 B	[英]	EGB 1309	☆同時通訳入門	2	選択必修 6単位 以上	1	各クラス定員48人
	[英]	EGB 2308	☆同時通訳法Ⅰ	2		2・3・4	定員20人
	[英]	EGB 2358	☆同時通訳法Ⅱ	2		2・3・4	定員20人
	[英]	EGB 2305	☆TOEICⅢ	2		2	定員40人
	[共]	GBE 2301	おもてなしの英会話	1		2・3	
実践 科目	[英]	EGR 4501	☆病院インターンシップ 2017のみ	2		3・4	集中

- 1) 主要科目8単位を必修とし、選択必修科目A・Bから各6単位を選択必修とし、総計20単位を修得すれば修了とする
- 2) 「医療サポート英語Ⅱ」のクラスはTOEICで選別する可能性がある
- 3) 臨床の医学・病院研修は、原則として、履修しようとする年度にプログラムを修了見込である者のみ履修可能
- 4) 「ホスピタリティ入門」「ホスピタリティ論Ⅰ」は、いずれか1科目のみ適用する
- 5) キャリアセンター提供の医療事務講座（有料）を履修することを勧める

○日本語教員養成課程の変更（「言語と教育」領域への科目の追加）

（関係部分のみ抜粋）

領域	学科等	コースナンバー	科目名	単位	必修	選択必修	備 考
言語と 教育	人間文化学科	CSB 1500	日本語コミュニケーションⅠ	2		6単位以上	
	人間文化学科	CSB 1550	日本語コミュニケーションⅡ	2			
	人間文化学科	CSB 2500	日本語コミュニケーションⅢ	2			
	人間文化学科	CSA 2508	☆キャリアとコミュニケーション	2			
	人間文化学科	CSA 2260	☆子どもの読書とメディア	2			
	人間文化学科	CSA 2561	☆識字活動と子どもの権利	2			
	人間文化学科	CSA 2512	☆昔話とストーリーテリング	2			
	英語英文学科	EGF 2202	コミュニケーション学概論	2			
	英語英文学科	EGL 3456	☆異文化間コミュニケーション	2			
	英語英文学科	<u>EGE 2501</u>	<u>Intercultural Communication and Adjustment</u>	<u>2</u>			} いずれか1科目 のみ適用する。
	英語英文学科	EGL 3403	☆対人コミュニケーション	2			
	英語英文学科	EGR 3201	☆小学校英語教育Ⅰ	2			
	英語英文学科	EGR 3251	☆小学校英語教育Ⅱ	2			
	司書課程	L I B 3800	児童サービス論	2			

変更点 ③ 授業・試験の欠席の取扱いの変更

学生便覧の「授業・試験の欠席の取扱い」が以下のように変更となります。

1. 授業を欠席した場合

- (1) 授業を欠席した（する）時は、授業担当者から特に指示がある等の場合を除き、原則として大学への連絡は不要である。
- (2) 本学に公認欠席（公欠）制度はない。
- (3) 以下に該当するやむを得ない事由で欠席した（する）場合、教務課・学事課で「欠席連絡票」を受取り、記入して各授業担当者に提出することができる。欠席事由解消後、すみやかに（実習においては事前に）提出すること。また、必要に応じて事由を証明する診断書・会葬礼状・事故証明書等の原本を呈示又はコピーを添付すること。

- ①本学が開設する授業による学外実習等（教育実習等）※¹
- ②教務委員会が特に認めるもの※¹
- ③学校保健安全法施行規則第18条に定める伝染病（下表）への罹患※²
- ④忌引
- ⑤病気（③の伝染病を除く。）
- ⑥就職活動における採用試験・内定式※³
- ⑦事故、交通機関の不通
- ⑧その他

※1 本学が開設する授業による学外実習等（教育実習等）、教務委員会が特に認めるもの

その実習等による欠席のために出席回数不足とならないよう、欠席した授業の全部又は一部について、授業担当者の判断で補講等の代替措置を講じることにより出席扱いとする等の配慮がなされる。授業担当者には教務課・学事課から該当期間等を連絡するが、補講等の代替措置の内容については授業担当者から直接指示があるため、実習前に「欠席連絡票」を提出すること。なお、実習の事前打合せ等で授業を欠席する場合については、事前に教務課・学事課に申出て指示に従うこと。

※2 学校保健安全法施行規則第18条に定める伝染病（下表）への罹患

保健室に電話連絡し、指示を受ける。親族以外の医師による診断書（学校保健安全法施行規則第18条に定める病名及び同第19条に定める出席停止期間の記載のあるもの）の呈示が必要。

※3 就職活動における採用試験・内定式

「就職試験受験証明書」又は「内定式出席証明書」の呈示が必要。各証明書はキャリアセンター又はキャリアセンターホームページで「就職試験受験証明書発行願」又は「内定式出席証明書発行願」を入手し、必要事項を記入した上で企業採用試験時に持参して採用担当者に署名・捺印を願い出（捺印のないものは無効）、採用試験終了後、1週間以内にキャリアセンターに提出すると、翌日に発行される。「欠席連絡票」は提出しなくてもよい。

- (4) 入院等で欠席期間が長期に渡る場合は、教務課・学事課及び学生課に連絡し、以後の履修等について相談すること。

変更のポイントは下表のとおりです。なお、これらの届出は必須ではありません。

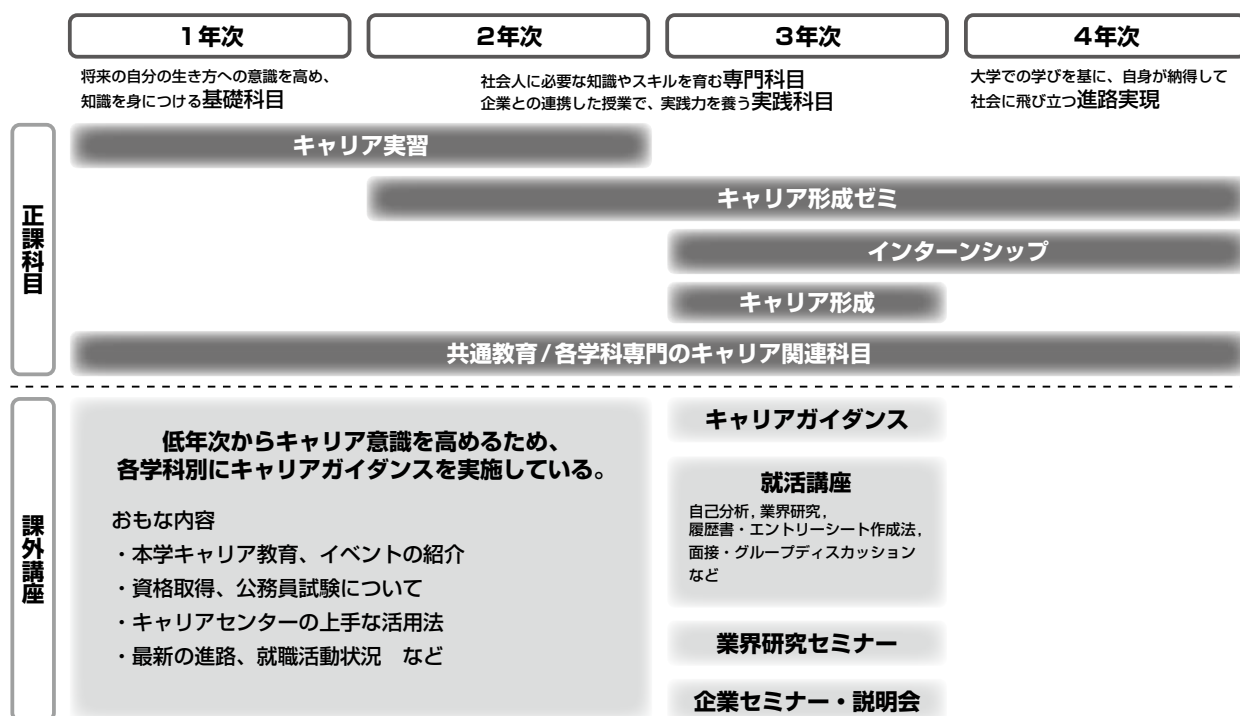
欠席の種類（上記1.（3））	欠席した場合に行うことができる連絡等の手続き（窓口部署）	
	現 行	変更後
①学外実習（教育実習）等※ ¹	教務課・担当教員へ申し出	欠席連絡票（教務課） 事前打合せ等の場合は教務課へ申し出
②教務委員会が特に認めるもの※ ¹	教務課へ申し出	欠席連絡票（教務課）
③学校保健安全法施行規則第18条に定める伝染病※ ²	忌引き・法定伝染病による欠席届（教務課）	欠席連絡票（教務課）
④忌引	忌引き・法定伝染病による欠席届（教務課）	欠席連絡票（教務課）
⑤病気（③の伝染病を除く。）	欠席連絡票（教務課）	欠席連絡票（教務課）
⑥就職活動における採用試験・内定式※ ³	就職試験受験証明書発行願（キャリアセンター）	就職試験受験証明書発行願、内定式出席証明書発行願（キャリアセンター）
⑦事故、交通機関の不通	欠席連絡票（教務課）	欠席連絡票（教務課）
⑧その他	欠席連絡票（教務課）	欠席連絡票（教務課）

キャリア教育について

本学では、「キャリア」という言葉を「職業の経歴」という意味に限定せず「人生」ひいては「生き方」といった意味で捉えている。人生100年時代と言われる中で学生がどのような人生を送りたいのか、どのような選択を行うべきかを主体的に考える「ライフプランニング」を構築するため、就業力を自己開発する実践キャリア教育に取り組んでいる。

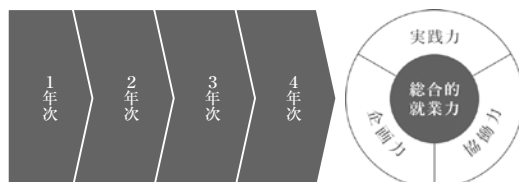
1. キャリア形成支援

初年次から卒業まで学生のキャリア発達にあわせて学部・学科・学年ごとに段階的なライフキャリア形成科目を開講している。必要な知識を身につけ、行動・実践することで力に変え、自身が納得して進路実現できるよう支援している。



2. キャリア教育の達成目標

社会で必要とされる「社会人基礎力」をはじめ、柔軟な思考力や問題解決力を身につけるプログラムを設計している。また、京都ノートルダム女子大学の特性を生かし、女性ならではの課題や可能性を考慮したキャリアプランニング力を低年次から受講可能な複数のライフキャリア形成科目を通じて高めている。



低年次よりライフプランニングへの意識を高め、企画力、協働力、実践力を身に付ける。
最終的には卒業時に総合的な就業力を身に付けることを目標としている。

3. PBL型「キャリア形成ゼミ」

理論と実践を結びつけた教育の一環として展開している。企業や地域・団体から提示された課題の解決やプランの立案など、現実の課題に取り組む授業（ゼミ）を複数実施している。また、グループで企画提案からプレゼンテーションまで取り組むことにより、協調性など社会で必要な多くのスキルを培う。

2025年度

履修登録の手引き

履修登録の手引き

授業科目・単位

本学を卒業するためには、学則に定められた授業科目（以下「科目」）を履修し単位を修得しなければなりません。卒業のために必要な単位（以下「卒業要件単位」。「要卒単位」ともいう）数は合計124単位以上ですが、どの科目の単位でもよいのではなく、学科・専攻ごとに履修しなければならない科目が細かく決まっています。

科目の履修

「履修」とは、単に登録した科目の授業に出席するだけでなく、予習・復習などを含め、各自が主体的に学修することをいいます。その科目の試験（レポートなど筆記試験以外のものも含む。）を受け、これに合格すれば単位を修得することができます。必修の科目が不合格になった場合は、同じ科目を再度履修しなければなりません（これを「再履修」といいます）。詳細については「学生便覧」（以下「便覧」）、「シラバス」をよく読んでください。

履修登録

年度の始めに1年間（前期・後期とも）に履修する科目を届け出る手続きが必要です。これを「履修登録」（または単に「登録」）といいます。登録していない科目は授業や試験を受けても単位が与えられません。

卒業までの履修計画

科目の履修は、4年間を見通し、**配当学年**に従って計画的に行うことが大切です。変則的な履修計画を立てると、不都合が起こって必要な科目が履修できなくなることがあります。自分が卒業までに履修しなければならない科目について、よく理解しておいてください。

また、科目の中には、他の科目の単位が修得済みであること（このような他の科目を「前提科目」といいます）や、その他の履修条件を設けているものがあるので、**履修科目表の備考欄**に注意してください。

1年間の履修単位

無理なく学修を進めるため、自分のペースも考えながら年間合計40単位前後を目安として登録し、最大でも各学部の上限単位数までとしてください（他大学等単位互換科目、介護等体験、および長期休業期間中の集中授業は含めません）。詳細については、便覧、ND手帳の該当ページをよく読んでください。多く登録し過ぎると、十分な学修時間が確保できずGPAが下がる可能性が高くなります。

年間履修計画

ウェブサイトで公開されている時間割から、本年度に履修する科目を選びます。**クラス**（大文字のA、Bなど）が指定されている科目の場合は、指示に従ってください。

免許・資格取得のための科目については、**便覧の該当ページ**を熟読し、計画的に履修してください。それぞれの資格の**説明会**などには必ず出席してください。

登録手続きの手順

登録手続きのスケジュールは次のとおりです。それぞれの手順の詳しいことについては、**便覧・シラバス**のほか、この冊子の該当ページをよく読んでください。

※説明会やエントリー期間の日程関係はすべて manaba「2025 年度履修登録確認」で確認してください。変更が生じた場合、随時更新します。
<https://manaba.notredame.ac.jp/ct/login>

STEP 1
時間割表(履修計画書)作成

3月 UNIPANDA 成績照会

1 成績・新年度関係書類を確認する

成績結果 (UNIPANDA) と履修登録期間及び説明会等確認します。

2 履修計画を立て、自分の時間割を作る

ウェブサイトで公開されているシラバス・時間割等を確認し、履修計画をたてます。
☆定員設定科目(抽選)までに「時間割表(履修計画書)」を作成しておくこと。

抽選エントリーや履修登録は、下記期間内の都合のよい日に各自で作業してください。学内・自宅パソコン等から UNIPANDA で作業可能です。

STEP 2
定員設定科目エントリー・履修登録

3月 15 日 (土) ~ 17 日 (月) 17:00 まで

3 履修登録関係資料を閲覧する

4 定員設定科目【第1次募集:抽選】のエントリーを行う

※希望者のみ

3月 19 日 (水) ~ 25 日 (火) 12:00 まで

5 履修登録／定員設定科目【第1次募集:先着】の登録を行う

※4で抽選エントリーした場合、結果を確認

※履修登録期間内に学科別履修相談会が実施されるので必要に応じて参加すること。

6 書類を完成させ、manaba に提出する

STEP 3
登録修正・確認

4月 9 日 (水) ~ 16 日 (水) 17:00 まで

7 履修登録の変更修正／定員設定科目【第2次募集:先着】の登録

※希望者のみ

8 書類 (STEP 2 の 7 で完成させたもの) を修正し、manaba に提出する

9 登録確認

UNIPANDA 上で最終の確認をします。

4月 17 日 (木) 以降

(問題なければ)
 **登録完了**

※記入した書類は各自で
保管しておくこと

定員設定科目について

定員設定科目は人数制限のある科目、クラス分けをする科目です。第1次募集は【抽選】と【先着】があります。第2次募集は、第1次募集(抽選、先着とも)で空きのある科目を【先着】で登録できます。対象科目は、「定員設定科目一覧表」で確認します。(教務課・学事課サイトまたは manaba「2025 年度履修登録関係」に掲載)

STEP 1

時間割表（履修計画書）作成

1 成績・新年度関係書類を確認する

①成績結果を確認する

3月中旬より、UNIPANDA「成績照会」で後期までの成績が公開されます。

②新年度関係書類を確認する

履修登録期間と説明会、4月オリエンテーション日程等書類を以下に掲載します。

manaba「2025年度履修登録関係」または教務課・学事課サイト

※説明会や履修登録・定員設定科目等の情報はすべて上記で確認してください。変更が生じた場合、随時更新します。

2 履修計画を立て、自分の時間割を作る

manaba等で公開されている時間割を確認のうえ、シラバスで授業内容を参照し、配当学年や前提科目（「登録用語の基礎知識」参照）その他の履修条件、クラス指定などを確認しながら、卒業要件や資格の要件を満たすよう科目を選択し、履修計画を立てます。（「時間割表（履修計画書）」を作成する。）

※集中授業（別途授業日程：manaba「2025年度履修登録関係」参照）は、他の授業と日程が重ならないように注意してください。

※**2024年度以前入学者**：次の共通教育科目の再履修については、ND教育センターの指示に従ってください。

- ・英語理解Ⅰ／Ⅱ（2020年度以前入学者は 英語基礎Ⅰ／Ⅱ）
- ・英語表現Ⅰ／Ⅱ（2020年度以前入学者は 英語総合Ⅰ／Ⅱ）
- ・情報演習Ⅰa／b（社会情報学環を除く）

※**2023年度以前入学者**：次の学科専門教育科目を履修する場合は、便覧記載数字の「配当学年」で履修・修得してください。

生活環境学科 および 心理学科専門教育科目 【関連科目】「精神保健福祉領域」科目

例) 配当学年「3」の「精神障害リハビリテーション論」

→ 3年生で履修（通常は3年次以降、4年生でも履修可）

2026年度以降「不開講」となる可能性もあるため、2025年度中の修得を目指してください。

他科目と時間割が重複する場合は、所属学科教員に相談すること。

○各学科の履修相談や資格のオリエンテーションについて

manabaやUNIPANDA等のお知らせで連絡します。

履修計画についての相談は各学科の指導担当教員・ゼミ担当教員等へ、履修登録についての相談は教務課・学事課で受け付けます。（教務課・学事課の受付時間：月～金 8:45～17:15、授業のある日は18:15まで。）

■登録にあたって注意すべき科目

〔海外研修など〕

WEB登録はできません。履修希望者は、**便覧・シラバス**の該当ページを読み、**各科目の説明会・事前指導***に必ず出席してください。

○海外研修説明会＝4月11日（金）・10月8日（水）16：35～

○「インターンシップ」・「キャリア実習」説明会＝4月16日（水）4講時

※大学コンソーシアム京都「産学連携教育プログラム」の説明も含む

○「キャリア形成ゼミ」受講生募集説明会＝5月21日（水）4講時

〔他学科等科目（便覧記載☆印の科目）〕

卒業要件単位に含めることができます。含めることができる上限単位数は入学年度によって異なるので便覧で確認すること。

なお、☆印以外の他学科等科目の履修を希望する場合は別に申請手続きが必要となるので、教務課に申し出ること。

【申請期限：3月28日（金）17:00】

〔姉妹大学・協定大学で修得した単位の認定〕

本学が交流協定を締結している大学で修得した単位は、審査の上、本学の科目の単位として認定されます（留学等については**便覧**を参照のこと）。ただし、コンソーシアムなどによる単位も含めて合計30単位が上限です。なお、放送大学・大学コンソーシアム京都科目は4年次後期は履修できません。

⇒**便覧** 及び <http://www.consortium.or.jp/> （3月下旬頃公開）参照

STEP 2

定員設定科目エントリー・履修登録

3 履修登録関係資料を閲覧する

関係書類を以下に掲載します。

manaba「2025 年度履修登録関係」または教務課・学事課サイト

※説明会や履修登録・定員設定科目等の情報はすべて上記で確認してください。変更が生じた場合、随時更新します。

4 定員設定科目【第1次募集：抽選】のエントリーを行う※希望者のみ

3月15日（土）9：00～17日（月）17：00

定員設定科目を確認し、履修希望科目が抽選の場合、UNIPANDAの「抽選科目希望登録」からエントリーします。

<定員設定科目とは>

定員設定科目は、人数制限のある科目、クラス分けをする科目です。対象科目は「定員設定科目一覧表」に掲載します。（manaba はまたは教務課・学事課サイト参照）。

第1次募集は【抽選】と【先着】があります。【抽選】はUNIPANDAの【抽選科目希望登録】からエントリーします。【先着】はUNIPANDAの【履修登録】から、他の科目を登録するのと同様に科目を登録します。定員に達した科目は登録できなくなりますが、一旦定員に達してもキャンセルが出た場合、登録が可能となります。

【第1次募集：抽選】では、受講者決定は以下のいずれかの方式で厳正に抽選を行います。（希望者多数の場合は、優先順位に従い抽選）

A方式＝（1）4年→（2）3年→（3）2年→（4）1年

B方式＝（1）4年→（2）資格希望者→（3）それ以外

注意事項：

- ※ B方式は、（2）（3）内では上級生優先です。資格希望者は「希望資格登録」を行わなければ、優先順位は上位になりません。
- ※ 同一科目の複数クラスにエントリーはできません。例）スペイン語AクラスとBクラスにエントリー等
- ※ クラス指定のある必修科目と同一曜日講時の科目にエントリーした場合、必修科目が優先されます。
- ※ 抽選のエントリーは特に、履修計画を十分練ってから注意してエントリーしてください。登録可となった科目の受講を途中で放棄したり、履修を中止したりすることは、他の履修希望者の機会を奪うことでもあります。

抽選結果について：

【第1次募集：抽選】の結果は、3月19日以降、UNIPANDAの【履修登録】画面を確認します。表示されていれば「当選」、表示されていなければ「落選」です。

当選した科目を、履修登録画面で取り消すことは可能ですが、取消後、履修登録期間中に再登録することは出来ません。誤って取り消してしまった定員設定科目は、4月の履修登録変更期間の2次募集で空きがあれば、先着順で登録できます。ただし同科目が2次募集対象科目になる保証はありません。

5 履修登録／定員設定科目【第1次募集：先着】の登録を行う

3月19日（水）9：00～25日（火）12：00

①（希望者のみ）資格登録を行う

資格取得を希望する場合は、WEB履修登録時、希望の資格を登録してください。特に4年次生は希望資格がある場合、必ず登録してください。修了証が発行される資格の場合、この登録がなければ、修了証を受けとることができません。

②抽選結果を確認する※4のエントリー者のみ

③UNIPANDAの【履修登録】から科目を登録

上記期間中、登録日は特に指定しません。期間内に学内で登録を行う場合、情報演習室1・2を利用できます。前提科目（A）が設定されている科目（B）は、その前提科目Aを履修または修得していなければ履修できません。前期に前提科目Aを登録すれば後期に科目Bを登録することはできますが、前提科目Aが不合格だった場合、科目Bの登録は無効になり削除されます。

④すべての科目が登録できたら「最終確認」へボタンを押し、登録内容を確認

⑤「提出ボタン」を押し、登録を完了させる

「履修内容にエラーがありません」と表示されたら、「提出ボタン」を押し、登録を完了させます。

「履修内容にエラーがあります」と表示された場合、エラーを修正しないと完了できません。

「エラーがありません」と表示後、「提出」ボタンを押して初めて履修登録が完了します。
「提出」ボタンを押し忘れることのないよう、十分注意してください。
「提出」ボタンを押さず、登録が完了していない科目は、履修が認められないことがあります。

「提出」ボタンを押した後でも、期間内であれば、何度でもやり直すことが出来ますが、最後に「提出」ボタンの押し忘れに注意してください。

<学科別履修相談日>

履修登録で相談がある場合は、各学科以下の指定日に参加すること。

●履修相談日

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| ・英語英文学科（3・4年次生） | 3月19日（水）11:00～13:00 |
| ・国際日本文化学科 | 3月19日（水）10:00～12:00 |
| ・生活環境学科 | 3月19日（水）13:00～15:00 |
| ・心理学科 | 3月21日（金）13:00～15:00 |
| ・こども教育学科 | 3月19日（水）11:00～12:00、13:00～15:00 |
| ・社会情報学環 | 3月17日（月）14:30～16:30 |

●新2年次ゼミ説明会・キャリア説明会

- | | |
|---------|---------------------|
| ・英語英文学科 | 3月19日（水）10:15～12:15 |
|---------|---------------------|

※英語英文学科の新2年次生は全員参加すること

6 書類を完成させ、manabaに提出する

①以下の書類を完成させる（p.40～41「登録書類作成の要領」を参照のこと）

- (1) 受講科目一覧表
- (2) 時間割表（履修計画書）（この手引きの巻末に控えを取る）
- (3) 各資格単位修得確認表

※(1)(3)は「教務課・学事課サイト」よりダウンロードできます。

②書類を提出する

「学生時間割表」(UNIPANDA から出力した PDF ファイルまたは画面の写真)、または「時間割表(履修計画書)」(写真)を以下へ提出する。

提出先: manaba「2025 年度履修登録関係」のレポート「履修計画書の提出」

※「時間割表(履修計画書)」を含め、他書類は各自保管すること。

<学生時間割表の確認方法>

UNIPANDA メニュー > 教務 > 時間割: 学生時間割表

※ PDFファイルで保存または画面の写真を保存する。

■登録書類作成の要領

〔受講科目一覧表〕

- 1 これまでに修得済みの単位を「既得単位」欄に記入する
- 2 本年度に履修する科目を「本年履修予定単位」欄に記入する
- 3 1と2の単位を合計する

※資格単位修得確認表も同様の考え方で記入してください。

〔時間割表(履修計画書)〕

- 1 学籍番号、学科、学年、氏名を記入する
- 2 履修する科目の「科目名」「担当者」を記入する

前期科目は「前期」の表に、後期科目は「後期」の表に、それぞれ記入してください。通年科目は「前期」「後期」の両方の表に記入してください。定員設定科目は赤の ○ で囲んでください。

☑ チェック ☑

- ☐ 学科・学籍番号・氏名は正しく記入してありますか？
- ☐ 必修科目はすべて記入してありますか？
- ☐ 同じ講時に通年と前期(または後期)の科目を二重に記入していませんか？
- ☐ エントリーした定員設定科目は赤の ○ で囲んでありますか？
- ☐ 履修資格のない(前提科目を履修していない、配当学年に達していない)科目を書いていませんか？
- ☐ クラスは指定とおりですか？
- ☐ クラス分けのある同じ科目を2つ以上書いていませんか？
- ☐ 「受講科目一覧」の計算は合っていますか？

登録書類の記入例

(1) 受講科目一覧表

【区分】入学年度の学生便覧で確認する

- 例) ・共通教育科目 → 教養科目 → 人間と文化
・英語英文学科専門的教育科目 → 専門基礎科目 等

【本年履修予定単位】2025 年度に履修する単位数を記入

【既得単位】2024 年度までに修得した単位数を記入

受講科目一覧表

※卒業要件単位数は学生便覧やUNIPANDAの単位修得状況で確認しましょう。
※学科・コースと入学年度を選択すると該当の科目等が表示されます。(ただし福祉生活デザイン学科はコース表示はありません)

学科・コース		英語英文学科 英語英文学科コース		入学年度		2023	
区分	科目コード	成績通知記載科目名	単位	配当学年 ※最低学年 のみ記載	既得 単位	本年履修 予定単位	
【人間と文化】	GEH1250	日本文学	2	1	2	2	
	GEH1200	外国文学	2	1	2		
	GEH1201	日本近現代史	2	1			
	GEH1202	東アジア近現代史	2	1			
	GEH1252	ヨーロッパ近現代史	2	1			
	GEH1150	歴史の中の女性	2	1			
	GEH1253	文化人類学	2	1			
	GEH1254	哲学入門	2	1			
【生活と社会】	GES1200	暮らしの法律学	2	1		2	
	GES1250	憲法と人権	2	1			
	GES1251	暮らしの経済学	2	1			
	GES1201	国際関係論入門	2	1			
	GES1202	社会学概論	2	1			
	GES1150	ジェンダー論	2	1			
	GES1500	ボランティア概論	2	1	2		
【人間と自然】	GEN1400	身近な自然科学	2	1		2	
	GEN1450	暮らしの統計学	2	1	2		
	GEN1201	身近な医学	2	1			
	GEN1150	生命倫理	2	1			
	GEN1401	心理学入門	2	1			
	GEN1202	情報の科学と倫理	2	1			
	GEN2450	A I とデータサイエンス入門	2	2			
【基礎科目・基盤科目 必修】	GCE1102	キリスト教学	2	1	2		
	GCE1103	キリスト教音楽概論	2	1	2		

(2) 時間割表（履修計画書）

提出用

2024年度 時間割表（履修計画書）	学籍番号	20230001	在籍学科	英語英文学科	学年	1	氏名	北山 杉子
--------------------	------	----------	------	--------	----	---	----	-------

科目名	担当	単位	科目名	担当	単位

※ 履修計画書を作成する人の姓を記入する。

① 中堅一級教員免許(取得)	②
③	④
⑤	⑥

<前期>

曜日	月	火	水	木	金
科目名	担当	単位	科目名	担当	単位
1		Reading IA Daniel Pearce先生	Listening IA York weatherford先生		Writing IA Steven Hardor先生
2	Speaking IA				ノートルダム学日
4	英語英文学基礎演習IA 小山 哲春先生	英語キャリア戦略 須川先生		キリスト教入門A 中里先生	
5					

定員設定科目には赤の ○ をつけること 通年科目は <後期> にも記入すること

<後期>

曜日	月	火	水	木	金
科目名	担当	単位	科目名	担当	単位
1					
5					

2016年度以前入学用

履修単位数	前期	後期	年間	上記に達しない履修単位1
上級単位数				
基礎単位数				

* 卒業要件以外の科目については、卒業要件外の履修科目を記入しない。

※1 卒業科目。卒業後1年及び1年以上の期間により本学以外での履修を認定する科目は、卒業後1年以内に履修される履修科目の単位及び履修科目の単位以外に履修単位で

2017年度以後入学用

履修単位数	前期	後期	年間	上記に達しない履修単位1
上級単位数				
基礎単位数				

* 卒業要件以外の科目を記入しない。

※1 卒業のために必要な単位以外の単位。卒業後1年及び1年以上の期間により本学以外での履修を認定する科目は、卒業後1年以内に履修される履修科目の単位及び履修科目の単位以外に履修単位で

STEP 3

登録修正・確認

7 履修登録の変更修正／定員設定科目【第2次募集：先着】の登録

次の場合、以下の期間に登録修正を行います。

- ・履修登録の変更・修正を行う場合
- ・定員設定科目【第2次募集】の科目を登録する場合

前期＝4月9日（水）9:00～16日（水）17:00

後期＝9月26日（金）～10月2日（木）17:00

※登録を修正する必要がある場合は、取消・追加できます。ただし、追加した授業科目について、この期間に欠席した分が出席扱いになるわけではありません。

※通年科目を、後期履修変更期間に取消・追加することはできません。

＜定員設定科目【第2次募集】について＞

第1次募集（抽選・先着とも）で空きがある科目は、先着で登録できます。UNIPANDAの「履修登録」画面から、他の授業科目を登録するのと同様に登録してください。ただし、この期間中に定員に達した授業科目は登録できなくなります。一旦定員に達した科目でも、キャンセルができた場合、登録が可能となります。

8 書類（STEP2の6で完成させたもの）を修正し、manabaに提出する※必要な人のみ

①以下の書類を修正する

- (1) 受講科目一覧表
- (2) 時間割表（履修計画書）（この手引きの巻末に控えを取る）
- (3) 各資格単位修得確認表

②書類を提出する

「学生時間割表」（UNIPANDAから出力したPDFファイルまたは画面の写真）、または「時間割表（履修計画書）」（写真）を以下へ提出する。

提出先：manaba「2025年度履修登録関係」のレポート「履修計画書の提出」

※「時間割表（履修計画書）」を含め、他書類は各自保管すること。

9 登録確認

下記の期間にUNIPANDAの【学生時間割表】で登録内容が間違いないことを確認する。

前期＝4月17日（木）以降、後期＝10月上旬頃

すべての確認が済んだら



登録完了

登録に使用した書類は大切に保管してください。

.....

正誤表

（別途 manaba「2025 年度履修登録関係」等でお知らせします）

※必ず訂正をしてください。

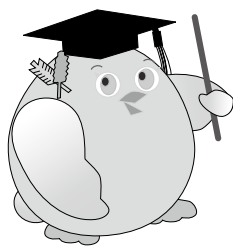
集中講義日程

（別途 manaba「2025 年度履修登録関係」や教務課・学事課サイト等でお知らせします）

※他の授業と日程が重ならないよう十分注意してください。

登録用語の基礎知識

便覧や手引きを読んだりしていて



と思ったら・・・

▶▶▶ とりあえずこのページを読んでみてください

配当学年【ハイトウガクネン】

その科目を履修する標準的な学年のこと。配当学年が自分の学年より上の科目は履修できません。例えば「2・3年次」配当の科目は1年次では履修できず、2年次か3年次に履修します（2・3年次で履修できなかった場合は4年次に履修できます）。

前提科目【ゼンテイカモク】

ある科目を履修するための資格*として先に履修（単位修得）しておくことが条件となっている科目のこと。履修科目表の備考欄に **前提科目** マークで示されています。例えば「〇〇Ⅱ」の備考欄に「**前提科目** 〇〇Ⅰ」とあれば、ⅡはⅠの単位を修得した人しか履修できません。WEB登録しても「エラー」となりますので注意してください。ⅠがⅡの前提科目である場合、Ⅰを前期に登録していれば後期にはⅡを登録することができますが、Ⅰが不合格だった場合はⅡの登録は「エラー」として無効になります。

（注※）ある科目を履修するための資格＝「履修科目表」の項参照

履修科目表【リシュウカモクヒョウ】

履修すべき科目が載っている表で、「学生便覧」にあります。ある科目を履修するためにクリアしていなければならない資格（「前提科目」もその1つです。履修資格には、ほかにも例えば「TOEIC500点以上」などがあります）は、この表の備考欄に書かれています。前提科目以外は登録エラーには関係しませんが、これらの資格がある人を対象に授業が行われますので、原則として従うようにしてください。

定員設定科目【テイインセツテイカモク】 ※抽選の場合

人数制限やクラス分けのため、いったんエントリーした後で登録の可否が決定される科目。第1次募集で履修希望者が定員より多い場合には抽選となります（上級生が優先されます）。当選しなかった人は登録できませんので、次の年度以降に履修してください。当選した科目の受講を途中で放棄することは、他の履修希望者の機会を奪うことでもあるので、シラバスで内容を十分検討してからエントリーしてください。

クラス指定【クラスシテイ】

2つ以上のクラスに分かれている科目を受講するときに、クラスが指定されること。クラス指定のない科目は自分で好きなクラスを選ぶことができますが、登録できるのは1クラスだけです。例えば人間学Aを登録した人は、人間学Bは登録できません。

オフィスアワー【Office hour】

先生が研究室などに在室している時間帯。授業についての質問や履修計画の立て方など、聞きたいことがあればこの時間を有効に活用して相談しましょう。

提出用

在籍学科	学年	氏名
------	----	----

学籍番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

年度 時間割表（履修計画書）

	科目名		科目名	
	担当者	単位数	担当者	単位数
集中 授業等				

※ 資格取得を希望する人のみ資格名を記入する。

取得希望 資格名	①	④	⑥
	②	⑤	
	③		

＜前期＞

曜日 講時	月		火		水		木		金	
	科目名 担当者	単位数	科目名 担当者	単位数	科目名 担当者	単位数	科目名 担当者	単位数	科目名 担当者	単位数
1										
2										
3										
4										
5										

＜後期＞

曜日	月		火		水		木		金	
	科 目 名 担 当 者	単位数	科 目 名 担 当 者	単位数	科 目 名 担 当 者	単位数	科 目 名 担 当 者	単位数	科 目 名 担 当 者	単位数
1										
2										
3										
4										
5										

2017 年度～2020 年度入学者用

登録単位数	前期	後期	年間	上限に含まれない単位※1
上限単位数				
登録単位数				

*卒業要件以外の科目等を含めない。

※1 卒業のために必要な単位以外の単位、学則第17条及び第17条の2の規定により本学以外での学修を認定する科目、長期休業期間に実施される集中科目の単位及び海外研修等通常の時期以外に随修登録できない授業科目

2021年度以後入学者用

登録単位数	前期	後期	年間	上限に含まれない単位※1
上限単位数				
登録単位数				

*卒業要件以外の科目等を含む。

※1 卒業のために必要な単位以外の単位、学則第17条及び第17条の2の規定により本学以外での学修を認定する科目、長期休業期間に実施される集中科目の単位及び海外研修等通常の時期以外に随修登録できない授業科目

2025年度
履修登録の手引き
2・3・4年次生用

2025年3月15日発行

発行 京都ノートルダム女子大学
〒606-0847
京都市左京区下鴨南野々神町1
編集 京都ノートルダム女子大学教務課
TEL. (075)706-3745(教務課)
FAX. (075)706-3790(教務課)
印刷 株式会社あおぞら印刷



KYOTO NOTRE DAME UNIVERSITY

京都ノートルダム女子大学

学 籍 番 号							氏 名